

ヤ終戦ニ伴ヒ裁判所構成法戰時特例ニ付キ御説明申上ダマシタト全ク同一ノ理由ノ下ニ、之ヲ廢止致サントスルモノデゴザイマス、而シテ本法案本文ニ於テハ原則トシテ舊法ハ一應之ヲ全面的ニ廢止スルコト致シテ居リマスルガ、同法中特ニ已ムヲ得ナイモノニ限り暫定ニシ尙ホ當分ノ内效力ヲ有セシムルコトトシ、之ヲ其ノ附則ニ規定致シタノアリマス、以下之ヲ簡單ニ説明致シマスルト、第一ニ舊法中ニハ戰時ニ於ケル諸物資、就中新聞紙等諸用紙ノ供給ノ極端ニ窮屈ナルコトニ概因スル幾多ノ規定カアリマス、即チ裁判所ガ官報及ビ新聞紙ヲ以テ公告ヲ爲スハキ場合、新聞紙ニ於ケル公告ヲ取止めタ、第三條裁所ノ爲スベキ登記事項ニ關シ公告全般ヲ取止メタ、第二十九條等ハ此ノ種ノ規定ノ最モ顯著ナモノガアリマス、然ルニ右新聞紙初々其ノ他諸用紙ノ需給事情ハ、終戦後、今日ニ於テモ戰時中ト殆ド異ラナイモノガアリマス、隨テ本法案ニ於テモ前述ノ各規定ハ當分ノ間尙ホ其ノ效力ヲ有セシムルコト致シマシタ

第二ニ舊法中ニハ必ズシモ戰時中ニ限り是ガ適用ヲ必要トスル規定デハナク、豫て實務取扱ノ經驗上、多年是ガ立法ヲ要望セシレテ來マシタ幾多ノ事項中、特ニ緊要ナモノヲ規定シタモノガアリマス、斯クノ如キ規定ノ一ツトシテ調停ニ關スル事項ヲ規定シタ同法第十四條乃至第十九條ノ規定ハ、其ノ適切ナル運用ガ戰時中ニ於ケルヨリモ寧ロ終戦ニ接著スル今日ニ於テ一層期待セラル、ト共ニ、他日恆久立法ニ繰入レラレルコト等ヲ考慮シテ、其ノ前後連貫性ヲ缺クコトノナイヤウ、本

法案ニ於テ一應其ノ效力ヲ有セシムル
コトト致シマシタ
最後ニ本法案ニハ舊法廢止ニ關シ立
法技術ニ上カラ當然考慮セラルベキ事
過的規定トシテ、例ヘバ舊法ノ規定ニ
基キ停止シタ強制執行ノ爾後ニ於ケル
進行ニ關連シテ規定セラレタ舊法第十
一條第二項ノ規定等ヤ、又裁判所構立
法戰時特例廢止法律案ガ、二、三ノ事
項ニ付キ舊法ノ規定ヲ尙ホ當分ノ内其
ノ效力ヲ有セシム旨規定シマシタノ
ニ對應シテ、是ガ運營ニ必要ナ規定ノ
例ヘバ訴訟物ノ價格算定ニ關スル舊法
第五條ノ規定等ハ、當分ノ内其ノ效力ヲ
ヲ有セシムヘキ旨ノ經由規定ヲ設ケアリ
シタ、以上カ本法案提出ノ理由アリ
マス

次ニ戰時刑事特別法廢止ニ關スル法
律案ノ提案理由ニ付テ御説明申上ゲマス
ガ、戰時刑事特別法ハ昭和十一年三月
二十一日施行セラレ、爾來數次ノ改正
ヲ經フ今日ニ至ツタノヂアリマスル
ガ、同法律ハ申スマデモナク刑法辯ニ
刑訴訟法カ主トシテ平時ヲ對象トシ
テ規定サレテ居リ、戰時下ニ於ケル犯
罪ノ豫防竝ニ鎮壓ヲ目的トスル法規ト
シテハ不十分デアリマス爲ニ、戰時下
ニ於テ國內ノ治安等ヲ著シク阻害スル
犯罪ニ對シテハ刑法所定ノ刑罰ヲ加重
整備シ、一般豫防ノ目的ヲ徹底化スル
ト共ニ、刑事手續ニ付テモ應急ノ措置
トシテ戰時ニ相應セル特別法設ケテ、
事件ノ迅速ナル處理ヲ期スル爲メ制定
セラレタノデアリマス、然ルニ御承知
ノ如ク大東亞戰爭ハ既ニ終局ヲ告ゲ、
國內ニ於ケル諸般ノ情勢ハ逐次平時ノ
狀態ニ復シツ、アルノデアリマス、隨
ヒマシテ戰時刑事特別法ヲ制定スルニ
至リマシタル理由ハ一應茲ニ消滅シタ

譯デアリマスルノデ、是が廢止法律案ヲ提出シタ次第アリマス、本法案ノ條文ハ極メテ簡単アリマスガ、先ヅルコトヲ規定シタルノデアリマシテ、一先ヅ全般ニ亘リ之ヲ廢止スルコトヲ致シテ居ルノデアリマス
次ニ附則第二項ハ、本法施行ノ期日ハ附則第一項ヲ以テ之ヲ定ムルコトシ、附則第二項以下ニ於キマシテ若干ノ經過規定ヲ設ケタノデアリマス、即チ附則第二項ハ、本法施行ノ日マデニ戰時刑事特別法第一章ニ規定スル罪ヲ犯シタル者ニ對シマシテハ本法施行後ト雖モ、從來通り同法第一章ニ規定ニ從テ之ヲリ断スルヨコト致シマシテ、處罰ノ公平ヲ期シタ次第アリマス、附則第三項ハ、戰時刑事特別法第十九條ノ二ノ裁判所ガ土地管轄ニ關スル規定ニ拘束サレルコトナク、自ラ事件ヲ裁判シ又ハ他ノ裁判所ニ之ヲ移送シ得ル旨ノ規定ト、同法第二十三條第三項ノ裁判所ガ審判ノ必要上、商工會議所其ノ他ノ團體ヨリ求メタル報告書ハ原則トシテ公判廷ニ於テ取調バナケレバナラヌ旨ノ規定及ビ同法第三十一條中陸海軍ノ軍法會議ノ刑事手續ニ付キ、右ノ規定ヲ準用スル部分、竝ニ同法第五章ノ規定ヲ起シタル事件ニ付テハ本法施行後ト雖モ専ニ付キ、既存ノ證據力ノ制限ヲ排除スル旨ノ規定ハ、本法施行前ニ公訴ヲ提起シタル事件ニ付テハ本法施行後ト雖モ専ニ付キ、既存ノ證據力ヲ有スルモノトシ、附則第四項ハ、先ニ御説明致シタ裁判所構成法戰時特例ニ定ムル裁判ノ二審

ニ關スル規定ガ、現ニ繫屬中ノ上告事件ニ付テハ、之ニ對應致シマシテ、本法施行ノ件ニ付テハ同法律廢止後ト雖モ尙ホ其ノ效力ヲ有スルコト相成リマス。キ、現ニ繫屬中ノ上告事件ニ付テハ、上告理由及ビ上告書ノ手續ニ關スル時刑事特別法第二十七條ノ規定モ亦、本法施行後ト雖モ尙ホ其ノ適用アルコトヲ明カニシ、附則第五項ハ本法施行前戦時刑事特別法ノ規定ニ依リナシタル手續ハ本法施行後ト雖モ尙ホ其ノ效用ナシ、判事及検事ノ退職並ニ判事ノ轉上ゲマス、本法案ハ終戦ニ伴ヒ一般官吏ノ減員ヲ行フニ際シ、判事及ビ検事ニ付テモ減員ヲ行ノ爲メ減員豫定數百二十八人ニ付キ裁判所構成法ニ定メラレタ判事及ビ檢事ノ地位ノ保障ヲ、時制限セントスルモノデアリマス、元來判事ハ終身官トシテ憲法上其ノ身分ヲ保障セラレ、刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ依ルノ外其ノ職ヲ免ゼテレナイマス、付テモ同法ニ同様ノ制限ガゴザイマス、ノデ、今回ノ行政整理ヲ判檢事ニモ右制限ヲ排除スル必要ガアルノデアリマス、仍テ本法案テハ此ノ制限ヲ最小限ニ排除スル爲メ判檢事ヲ通シ減昌豫定數三百二十八人ニ付キ、昭和二十年三月三十一日マデ限リニ之ニ退職

ヲ命ジ得ルコトナサントスルモノデ
アリマス、加之憲法ノ精神ハ行政權ヲ
以テ濫用ニ判事ノ地位ヲ動カシ得ナイ
コトヲ保障スルニアルノデアリマスカ
ラ、判事ニ退職ヲ命ズルニシマシテモ、
司法大臣ノ専權ニ委ネルコトハ適當ニ
アラズト考ヘマスノデ、其ノ願ヒニ依
ル場合ノ外大審院ノ總會ノ決議ヲ經ル
コトヲ要スルモノトシ、更ニ其ノ決議
ヲ慎重ナラシムル爲メ其ノ總會ハ大審
院ノ判事三分ノ二以上出席シテ之ヲ開
キ、其ノ決議ハ出席者ノ三分ノ二以上
ノ意見ニ依リ之ヲナスコトシタノデ
アリマス、尙ホ以上ノ措置ニ依リ判事
及ビ檢事ニ退職ヲ命ジタ場合ニハ、之
ニ伴ヒ判事及ビ檢事ノ配替替ハノ爲メ
之ニ轉所ヲ命ズル必要ガアリマスルノ
デ、判事ノ轉所ニ付テ同年四月三十
日マテ前述裁判所構成法ニ定ムル保障
ヲ一時撤廃セントスルモノノデアリマス
ヲ
以上四案ノ提案理由ヲ御説明申上ゲ
タノデアリマスルガ、何卒慎重御審議
ノ上速力ニ可決セラレントコトヲ御願ヒ
致シマス

員ノ御答辯ハ、恩給ガ廢止ニナルト軍人ガ因ラレルデアラウカラ、厚生省デソレニ付テハ社會保險審議會ナルモノヲ作リ、廣ク民間ノ有識者ヲ集メテ、目下折角調查研究審議ヲ進メテ居ル、戰殘者ノ遺家族救濟ニ付テハ、軍事保護院ガ厚生省ノ所管ニ移ツテ居リマス故ニ、是レ亦厚生省ニ於キマシテ萬遺憾ナキヨ期シテ進ンデ居リマス、斯ワ申サレタノデアリマス、サウシテ詳シイコトハ專門ノ委員ヲ以テ答辯セマスカラ、其ノ專門ノ委員カラ聽イテ戴キタイ、斯ワ云フコトデアリマシタ爲ニ、私ノ昨日ノ質問ヲ留保致シテ居ツタ次第アリマス、本日御尋ネシタイコトハ、答辯ノ中ニアリマシタ社會保險ノコトニ付テデアリマス、其ノ一つハ社會保険加入者ノ資格、其ノ二ツハ社會保険金拂込ノ方法、今一つハ社會保險金支拂ノ方法、此ノ三點ニ付テアリマス

之ニ付キマシテモ現在審議中デアリマシテ、マダタ得テ居ナインデアリマスカラ、モウ少シ具體的ノ御尋ねガイマスレバ御答へ致シマス
○松本(治)委員 厚生省ノソレニ對スル構想ダケデモ宜シウゴザイマス
○青柳政府委員 現在審議中ノ委員會ニ於キマシテハ、軍人恩給ニ代ルモノト致シマシテ、現在厚生年金ト云フコトニ會保険ガゴザイマス、此ノ厚生年金ニ準シタ制度ヲ以テ軍人恩給ニ代ルコトガ出來ルノデハナイカ、出來ルトスレバドウ云フ宋ガ立ツノカト云フコトニ付テ審議致シテ居リマス、サウ致シマスルト軍人恩給ニ代ル新制度ニ付キマシテハ、具體案ガマダ出來テ居リヤマヌノデ、或ハ御参考ニ厚生年金ト云フモノハドウ云フモノデアルカト云フコトヲ申述ベレバ、質問ノ御意圖ニ或ル程度合フノデハナカラウカト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ
○松本(治)委員 ソレデ結構デス、参考ニナル程度ノモノデ結構デス
○青柳政府委員 ソレデハ現在行ハレテ居リマス厚生年金ノ概要ヲ申述べ、勿論此ノ厚生年金其ノモノガ軍人恩給ニ代ルト云フコトニナツテ來ルノデハアリマセド、此ノ厚生年金ニ准シタ制度ガ打樹テラレルデアラウ、概ウ考ヘラレルノデアリマス、御参考ニナルト恩ヒマスカラ申上ゲマス、現在ノ厚生年金ト申シマスモノハ昭和十六年ニ勞働者年金保険法トシテ誕生シタモノデアリマス、其ノ當時ハ此ノ名前モノノ示シマスヤウニ、男子ノ労働者ヲ保険者ト致シテ居リマシタ、所ガ既往カラ此ノ法律ノ名前ヲ厚生年金ト改メマシテ、獨リ男子勞働者ノミナラズ、女子勞働者ニ付キマシテモ亦銀行・金

社、商店ニ勤メマスル職員ニ付キマシテモ、此ノ年金制度ヲ行フト云フコトナリ。申シマスト、五人以上使用致シテ居ルカト、マス工場、事業場、銀行、會社、商店ニ使用サレテ居ル者ヲ被保險者ト致シテ居リマス、是ハサウ云フ工場、事業場、商店、會社、銀行ニ勤メマスト當然被保險者ノ資格ヲ得マス、所謂強制加入ト云フ制度デゴザイマス、戰時中ハ相當勞働者モ多數デゴザイマシタノデ、昨年ノ末頃ハ此ノ被保險者ノ數ハ八百萬人ヲ超エタゴトモゴザイマス、併シ終戦ニ伴ヒマシテ是ハ五百八十八萬、六百萬程度ニ減ズルモノト存ジテ居リマス、次ハサウ云フ被保險者カト云、如何ナル程度ノ保険料ヲ徵收スルカト云フ問題デアリマスガ、ソレハ其ノ被保險者ノ月收ノ百分ノ十一、詰リ百四取ツテ居リマスト十一四、之ヲ保険料受持チマス、半分ゾツ負擔致シマス、即チ百圓取ツテ居リマスト、從業者五十四五十錢ゾツ毎月出ス譯デアリマス、此ノ保険料ノ收入ハ本年度ノ預定ニ於キマシテハ七億七千萬圓ノ預定也。ゴザイマスガ、勞働者減貞ニ伴ヒマシテ大體五億圓程度ニナラウカト存ジテ居リマス、ドウ云フ給付ヲスルノカ、ドウ云フ金ヲ此ノ制度カラ被保險者ニ對スル傷害年金、傷害手當金ト云フ制度ガゴザイマス、重イ不具體疾ニ金、ソレカラ不具體疾ニナリマシタ者、居リマス、年々取ツタ人ニ與ヘマス養老年金、輕イ不具體疾ニハ一時金ニ對スコトニ致シテ居リマス、第三番

給付ト致シマシテハ脱落手當金ト云
ノガゴザイマス、是ハ使用サレテ居ニ
從業員、被保險者ガ二十年働キマス、
養老年金ガ付クノデアリマスガ、二十
年働カナイ中ニ仕事ヲ止メル時ニ出
一時金デアリマス、サウ云フ脱落手當
金ノ制度、ソレカラ被保險者ガ死ニシ
シタ場合ニ其ノ遺族ニ與ヘル遺族年々
制度、モウ一ツ第五番目ニハ結婚手當
金デアリマス、女子ノ勤勞者ハ長期
瓦ツテ仕事ニ從事スルコトガ中々少
ノデアリマシテ、女子ガ娘ヲスル、
イケマセヌノデ、結婚シタ場合ニハ
時金ヲ出ス、サウ云フ五種類ノ制度
ゴザイマス、大體本年度ノ豫定トシ
シテハ三千萬圓程度ノ只今申シマシク
五種類ノ給付ノ爲ニ充テ爾豫定ゴザ
イマシタガ、終戰ニ伴ヒマシテ脱落
ル者が多くナリマシタノデ、現在ノ所
ハ本年中ニ二億圓程度ノ支出ヲシナ
レバナラヌカト存ジリマス、厚生
年金ト申シマスノハサウ云フ風ニ所
長期給付デゴザイマスノデ、二十年生
ニナツテカラ金ヲ拂フト云フヤウナ
好ニナツテ居リマスカラ、相當手計
多額ノ金ヲ持ツテ居ラケレバナラ
ノデアリマス、現在ハ其ノ積立金ガト
一月末ニ於キマシテ約十一億圓ゴザ
マシタ、此ノ制度ニ對シマス國庫ノ急
撫ハ、給付金ノ十分ノート云ソコト
ナツテ居リマス、事務費ハ全額國庫
給、斯ウ云フコトデアリマス、大體
在ノ厚生年金ノ大要ノコトヲ申上ゲ
シタ、斯ウ云フ厚生年金ニ準ジタ御
ヲ以テ軍人ノ恩給廢止ニ對處致シタ
ト存ジマシテ、今折角議立案ヲ急
デ居ル次第アリマス

マシタガ、此ノ恩給ガ廢止サレルト軍人ハ困テレル、ダカラ社會保險審議會ニ依クテ作ラレル厚生年金ニ準ジテ新設ナレルモノノ恩給受給者ヲ入レヨウトスワ云フ御考ヘデゴザイマスカ、又似通ツタ考ヘ方デ年金制度ヲ作りマシテ軍人恩給ニ代ヘル、斯ワ云フ考ヘデゴザイマス

○松本(治)委員 現在既ニ受ケテ居る受領者、サウ云フ人達ハ全部其ノ厚生年金制度ニ通似ツテ新設サレルモノニ入レラレル御考ヘデアリマスカ

○青柳政府委員 現在既ニ受ケテ居リマス方ニ付キマシテハ、實ハ今考究中デゴザイマスガ、新シイ制度ニ依リマシテ又金額ヲ算定致シマシテ改訂シテ支給スルト云フコトニナラウカト存ジテ居リマス

○松本(治)委員 私ハ元來恩給亡國論ヲ唱ヘテ來マシテ、恩給制度ノ廢止ヲ主張シテ今日マデ參ツテ居ルノデアリマス、大體斯ワ云フ機會ニ恩給ミタヤウナモノハ屢止スベキダト、斯ワ云フ考ヘヲ持ツテ居ルモノデアリマス、敗戦日本ノ將來ハ重イ荷ヲ負ツテ遭道ヲ歩カナケレバナラヌノデアリマス、併シ國家ノ爲ニ不具體疾トナリ又國家ノ爲ニ其ノ一家ノ中心トナル支柱ガ亡クナラレタ爲ニ生活ニ困ル人達、是等ノ人々ニハ國家カ何トカジナケレバナラヌ、斯ワ考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ際今マテ恩給ヲ取ツテ樂々暮シテ居ル人達ハ打切ルヘキダト斯ワ考ヘテ居ルノデアリマス、又今ノ御詰ノ模様デバ大體今マテノ恩給ヲ取ツテ居ル人達ハ厚生年金ニ似通ツタ新設ノモノニ入レラレテシマフモノノヤウニ

感ジヲ持ツ者デアリマス、ソレダアル
ニラバ恩給ガ厚生年金ニ準ジテ作ラレ
ル新設ノモニ吸收サレルト云フコト
ニナリハシナイカト思フノデアリマ
ス、ソレデアレバ聯合軍最高司令部力
ラ恩給ヲ扶助料ヲ廢止シロ、斯ウ云フ
命令ガ得出居ルノニ、其ノ胡麗化シガ
利クカドワカト云フコトヲ私ハ考ヘル
ノデアリマス、サウ云フコトニ付テ何
カ御考ヘガアルノデアリマスカ、御答
ヘヲ願ヒタイ

○青柳政府委員 聯合軍司令部カラ參
ツテ居リマスル指令ノ内容ニ微シマス
ルト、勞働能力ヲ制限スルヤウナ不具
體疾者ニ對スル補償金ハ出シテモ宜シ
イ、唯其ノ際ニハ非軍事的理由カラ起
キタ同程度ノ不具體疾者ニ與ヘラレル
最低ノモノヨリ高イ率デアツテハナラ
ナイト云フノデアリマス、之ヲ案ジマ
スルノニ勞働能力ヲ制限スルヤウナ人
ニ對シテ、別ニ或ル程度ノ金額ヲ支給
シテモ宜シイ、唯其ノ程度ガ外ノ一般
ノ人ニ對スル給與ノ最低ノモノヨリ高
クナツテハイカヌト云フノデアリマ
ス、大體厚生年金ナドモ一般ノ人ニ支
給致シマスル金額トシテハ、厚生年金
制度以外ニハ一寸見當フナインデアリ
マス、ソレカラ厚生年金ニ準ジタ制度
ガ出来ルノデハナイカト思ソテ折角研
究致シテ居ル所デアリマス

○松本(治)委員 私ノ先程御尋不シマ
シタノハ聯合軍最高司令部カラ恩給及
び扶助料ヲ廢止スベシト云フ指示ガ出
チ居ル、ソレニ今ノ御話ハ、鬱ク力ナ
ク、何等カノ救濟ノ途ヲ講ジナケレバ
生キテ行カレナイト云フ人達ニ對スル
支出ハ宜イガ、其ノ他ハ出來ナイト云
フコトニナル譯デスガ、サウスルト先
程ノ話デハ恩給ヲ扶助料受領者ハ別途

ノモノノ敷濟スルヤウニ私ニハ聞エマシタカラ御尋不シタ譯デスガ、財產ガアリ、自分ノ體力ヲ以テ生活ヲ立テ行ケル人達ニハ、現在恩給ヲ取ツテ居人ト雖そ、厚生金ニ似通ソテ新設サレルモノニハ入レナイト云フコトニナル譯デスガ

○書柳政府委員 實ハ今御指摘ノヤウナ點ニ付キマシテモ、審議會デ折角研究中デアリマシテ、マダ具體案ハ出テ居ラヌ狀態デアリマス

○松本(治)委員 私ノ質問ハ是デ終リ
マシタ

○小柳委員長 高城君
○高城委員 入營者ノ職業諸法ノ廢止ニ當リマシテ、之ニ關スル戰時下ニ於ケル色々ナ想出モアル譯デアリマス、更ニ手帳ノ方モヤハリ同様デアリマシテ、是ガ今日廢止セラル、ニ當リマシテ、此ノ戰爭期間中、國民ノ勤勞ガ此ノ法ノ施行ニ依リマシテ能ク國家ノ大事ニ集中セラレマシテ、而モ其堪勉努力ニ依ツテ其ノ實ノ相當ニ上ツテ來タモト云ソ點ニ付テ感謝ノ氣持ガアルノデアリマス、併シナガラ其ノ結果ハ敗戰ト云フコトニナツテ、洵ニ感無量ナモノガアリマス、今此ノ廢止ニ當リマシテ、是等ニ關スル總括的ナ政府ノ所感ヲ承リタイトイ思フノデアリマス

○佐伯政府委員 御話ノヤウニ入營者職業保障法竝ニ勞務手帳法ハ戰時下ニ止セザルヲ得ナイ、斯ウ云フコトニナシタ譯デアリマス、大體ノ法律ノ經過ニ付キマシテ若干申上ゲマスト、入營者ノ職業保障法ハ此ノ法律ノ示シマスヤウニ、入營應召ニ依リマシテ、本人ガ大體ノ法律ノ法律ノ經過

トス様ニ存ジテ居リマス、是ハ入營應召者本人ニ對シテ非常ナ安心感ヲ與ヘルト云フ、精神的ナ大キナ效果ヲ持ツタモノレバ待遇ガ悪クナルト云フコトモアリ勝チデアツタノデゴザイマスガ、此面從來ハ應召入營ニ依リマシテ、應召ノ法律ノ施行ニ依リマシテ、應召申中ノモノニ付キマシテモ待遇改善ヲ圖ルト云フヤウナ點モ、非常ニ改善セラレタコトト存ジテ居リマス、今後入營應召者ニ外地關係ノ復負ノ方々ガ漸次歸ツテ參ンレルナラバ、是等ノ方々ニ對シマシナハ、特ニ職業ノ保障ニ付キマシテ、我々トシマシテ萬全ノ努力ヲ拂ヒマシテ、今後ノ生活ニ對スル後顧ノ處ノナイヤウニ致シタイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

ソレカラ勞務手帳ノ方ハ御承知ノヤウニ技術者ノ初メト致シマシテ、一般勞務者ニ付キマシテ手帳ヲ交付致シマシテ、之ヲ就職ナリ或ハ將來ノ條件ト致シマシテ、一面労務者ノ移動ヲ防止ヲ圖ルト云フ點ニ此ノ法律ノ眼目ガアツタ譯デアリマスガ、十六年ニ此ノ法律ヲ施行致シマシテカラ、サウ云フ部面ニ於ケル從業者諸君ノ移動ハ確カニ抑制セラレタ觀ガアルノアリマシテ、是ハ御手許ニ差上ゲマシタ資料ニ依リマシテ、解雇率ヲ見マシテモ、法律ガ施行ニナリマシテカラハ相當低下致シシテ居ル、斯様ナル情勢ニ相成ツテ居リマス、此ノ手帳タ總數ハ一千萬近クニ上ツテ居ルノデゴザイマシテ、勞務手帳法自體ノ效果ハドウカト思ヒマスガ、是ガ戰時中ニ於キマス勞務調整ノ基本法律ト致シマ

シテ、其ノ他ニ色々ノ意義ヲ持メモノト考ヘテ居リマス、併シナガラ終戦後ニアリマシテ、大體所忌ト申シマスカ、兩法ノ法律ノ經過ヲ申上ゲテ御諒承ヲ御願ヒ致シタクト存ズル次第デゴザイマス○高城委員 大體退營ト云ノコトデナシニ、復員ト云ノコトニナツタ譯アヌガ、復員ノ員數、都市ト農村別ニ概観ヒドウ云ソ風ニナツテ居リマスカ○佐伯政府委員 御承知メ内地關係ノ復員ハ大體完了ヲ致シタ次第デゴザイマスガ、内地ノ陸海軍ノ復員數ハ合計シマシテ三百九十六萬人ゴザイマス、陸海軍ニ於キマシテハ是等ノ復員軍人ニ付キマシテモ、全國ノ詳細ナル調査ヨシテ居リマスノデ、ソレヲ數字的ニ申上ゲテ見タイト思ノノデアリマス、農林業關係ノ前職ヲ持ツタ復員軍人ガ四百四萬人ゴザイマス、水産業ガ約七萬鑄業ガ十三萬、工業ガ百五十三萬人、商業方面ガ二十九萬人、交通業關係ガ三十八萬人、公務自由業ガ五十四萬人、大體斯ツ云フヤウナ前職ノ數ニナツテ居リマス、ソレカラ外地關係ノ復員ガアリマスガ、是ハ總數三百六十五萬ゴザイマスガ、其ノ前職ヲ申上ゲマス、農林業關係ハ九十六萬、水產業ガ七萬鑄山業ガ十二萬、工業ガ百七十一萬、ノ都市別、農村別ニドウ云フ復員ノ狀況ニナルカト云フコトハ、只今其ノ資料ガゴザイマセヌノデ、大體產業別ニ申上ゲマシテ御参考ニシテ戴キタイト思ヒマス

員後ノ求職ト言ヒマスカ、職業ニ復歸シタ狀況デスガ、歸農者ト云フヤウナモノガ大體幾ラ位ニナツテ居ルカ、尙ホ此ノ所謂鑄山並ニ工業方面ニ付テハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、分リマシタラ御伺ヒシタイ

○佐伯政府委員 御質問ノ點ニ付キマシテハ、實ハ私共ノ方デモ是非的確ナ數字ヲ知リタイト云フコトデ、陸海軍トエ連絡ヲシテ見タノデゴザイマスガ、御承知ノヤウナ情勢ニアリマンテ、陸軍關係ニ於キマシテモ、全然運營シタ者ニ付キマシテハ其ノ所在ヲ禁止メテ居ノナイト申シマスカ、サウ云フコトハ出來ナイ状況デアリマスノテ、正確ナ資料ハ幾念ナガラナイノデアリマス、但シ今申上ゲマシタヤウニ、大體農村カラ來マシタ者ハ農村ニ歸農シテ居ルト云フコトハ常識的ニ考ヘラレマス、ソレカラ鑄山業方面ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ石炭ノ勞務ガ非常ニ不足シテ居ル現狀デアリマスノテ、復員軍人ノ方ニ是非鑄山方面ニ挺身シテ戦ヤタイ、況ヤ斯ツ云ノ方面ニ前職ヲ持ツ人々ニ付キマシテハ、是非職職ニ歸ツテ、鑄山方面ニ倒伏イテ貫ヒタイト云フコトデヤツテ居リマスガ、最近調査シマシタ所デハマダの確ナ數字ガ是レ亦分ツテ居リマセヌマダ鑄山方面ニ歸ツテ居ラナイヤウチ實情ニアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレカラ工業方面デアリマスガ、是ハ百五十三萬近ク内地ニ於キマシテモ前職者ガアルノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ重工業ノ閉鎖ニ依リマシテ、ソレデナクトモ相當ノ數ガ離職シテ居ル現狀デアリマスノデ、恐ラクサウ云フ方面ニ對シマスル

復員者ノ數ハ殆ド見ラレナインデヤナ

イカ、斯ウ云フヤウナ推定ヲ持ツテ居

ル次第デゴザイマス

○高城委員 此ノ保障法ニ基イテ、所

謂保障法ガ謳ツタサウシタ生活ノ保護

ト云フヤウナコトニ關スル本省ニ對ス

ル復員者カラノ要求等ハアリマセヌデ

スカ

○佐伯政府委員 實ハ戰時中ハ非常ニ

人手ガ不足ヲ致シマシテ、ソレデナク

トモ色々ナ方面ニ問題ガアツタヤウナ

次第デゴザイマシテ、實際問題ト致シ

マシテハ、特ニ此ノ保障法ノ保障ヲ受

ケナケレバ、職業ノ保障ガ出來ナイト

云フヤウナ實情ニハナカジタヤウ

ニ存ジテ居リマス、サウ云フヤウナ實

情モアリマシテ、旁々特ニ此ノ法律ニ

關シマスル復員軍人ノ方面カラノ色々

ナ要求ト云フコトハ、聞イテ居リマセ

ヌ現狀デゴザイマス

○高城委員 是ハ敗戰ト云フ特殊ナ事

情ニ依ツテ此ノ法律方自然消滅ニナツ

テ行クヤウナ形ニナツテ、總テガ巴ム

ヲ得ナイト云フコトニナツテ居ルノデ

アリマスガ、併シナガラ大體法律ノ建

前トシマシテハ、最初謳ツテアルヤウ

ニ、其ノ退營竝ニソレニ準ズル復員ニ

付テハ、ソレニ對スル勧向ヲ見届ケテ

行クト云フヤウナコトニ關スル國家ト

シテノ組織ハナケレバナラヌ譯デアル

ト思フノデアリマス、此ノ際トシテハ

勿論非常ニ困難ナ點ガアツタカラ、結

局已ムヲ得ナイト云フコトデ、尻抜ケ

ニナツテシマフト云フ點、已ムヲ得ナ

イト思フノデアリマス、併シナガラ堂

堂タル所謂文化國トシテ、常ニ如何ナ

ル場合デアツテモソコニ一ツノ方向ヲ

執ツテ行クト云フ芽生エハナケレバナ

ラヌ譯デアリマスルカラ、サウシタ復

員者ニ關スル職業保障ニ關シテ、廢止

法ノ提案ノ今日ニ至ルマデノ間ニハ、

相當ノ事務的ナ處理ガ進ンダコトト思

フシ、又サウデナケレバナラヌト思フ

ノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ密カ

ニ政府ニ向ツテ期待シタインデアリマ

ス、此ノ石炭ノ問題ニ付テモ非常ニヤ

カマシイノデアリマス、之ニ付テモツト

此ノ職業保障法ヲ積極的ナモノニ置換

ヘテ、サウシテ此ノ保障法ノ內面的連

繫ヲ持ツテ、新シイ日本建設ノ爲ノ保

障法ヲ考ヘテ行クト云フヤウナ、サウ

シタ新タナ立法ノ計畫ハアリマセヌカ

ドウデスカ

○佐伯政府委員 保障法ノ廢止、御話

ノヤウニ終戦ト云フ事實ニ伴ヒマシテ

兵役機構ガ廢止ニナリマシタ、殊ニ最

近ノ色々ナ狀況ヲ見マスト、軍人タル

ノ故以チマシテ特別ノ取計ヒヲスル

モアリ、旁々廢止セザルヨ得ナクナツ

タ次第デゴザイマス、併シナガラ御話

ノヤウニ復員軍人ノ方々モ、職業ノ保

障ト云フコトハ極メテ重大ナ問題デゴ

ノト云フ所マデハマダ考ヘテ居リマセ

ウナモノニ付テ、今少シ承リタイト思

ヒマス

○佐伯政府委員 御話ノ點ハ沟ニ御尤

モデゴザイマシテ、今後我が國ト致シ

マシテハ、民需産業ノ復興ノ問題トカ

テ廣イ意味ニ於テ繫ガツテ、次ノ勞務

ノ確立ニ關スル厚生省ノ意圖ト云フヤ

レナケレバナラナイ譯デアリマス、隨

モ、ヨリ重大ナル復興對策ソ上ニ、勞

務ノ一ツノ規則ナリ、或ハ組織的ナ手

段ト云フカ、サウ云フモノガ實行セラ

ヒマス

○佐伯政府委員 其ノ通リデゴザイマ

ス

化スルモノト思ツテ居リマス

○高城委員 私ハ官制ノ方ハ能ク分ラ

専ラ厚生省ニ於テ、今後其ノ保護、指

導ニ任ズル、斯ウ云フコトニナツテ居

ル譯デスネ

○佐伯政府委員 尚ホ是ハ單ニ今御話ノヤ

ウニ、入營者ニ關スル方面ダケナシ

ニ、所謂勞務手帳ノ方カラ考ヘテモ、

今日ノ新タナソレコソ戰爭ノ當時ヨリ

モノマデ考ヘタラドウカ、ト云フヤ

ウナコトモ色々問題ガアリマシテ、將

來ニ於テハ確カニ研究問題ノ一ツデア

ラウトハ考ヘマスガ、只今直ニ之ニヨ

テ、ヨリ重大ナル復興對策ソ上ニ、勞

務ノ一ツノ規則ナリ、或ハ組織的ナ手

段ト云フカ、サウ云フモノガ實行セラ

ヒマス

レバナラヌノデハナイカト云フ點ハ、

痛切ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○高城委員 是ハ從來餘りサウ云フ點

マデ物ヲ肆ツテ見テ行クト云フヤウナ

コトハナカツタコトカモ知レマセヌ

ウナモノニ付テ、今少シ承リタイト思

ヒマス

○佐伯政府委員 御心配ヲ申上ゲタ

マシテモ七千九百萬近クノ人口ヲ此ノ

狹小ノ國土デ賄ハナケレバナラヌ、其

ノ他ノ問題ガ色々アリマスガ、ド

ウシテモ七千九百萬近クノ人口ヲ此ノ

行カナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

ゲナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

ゲナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

期待致シテ居ル次第アリマス、戰爭

中ニ於キマシテモ勞務手帳ニ對シマシ

テハ、單ニ法規的ナ規制、申上ゲマシ

タヤウニ、大體是ハ移動防止ヲ目標ト

シタ法規アリマス、全國民ニ手帳ヲ

體ガ其ノ人ヲ育テナカツタ、ダカラ日

本人ハ薄ツベラニ勤勞ニハ從事スルケ

レドモ、ソレニ對スル技術ノ修練ト、

或ハ內面的ニ其ノ仕事ヲ自發創意ヲ以

テ展開シテ行クト云フヤウナ點ニ付テ

ハ、ドウモ巧ク行カナイ、ソレハ學校

ノコトダト云フヤウナコトニナツテシ

マツテ、直ぐ教育トカ何トカ云フヤウ

ナ所ヘ追込シマス、處置ヲ執ラナケ

レバナラヌノデハナイカト云フ點ハ、

痛切ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○高城委員 是ハ從來餘りサウ云フ點

マデ物ヲ肆ツテ見テ行クト云フヤウナ

コトハナカツタコトカモ知レマセヌ

ヤウニ思フノデアリマス、折角此ノ手

帳法ニ依ツテ一つノ勞務統制ヲ圖ルト

云フヤウナコト等ガアツタノデアリマ

スガ、其ノ間ニ戰爭ト云フ緊急ナ要請

タ、一國トシテ、色々ナ諸般ノ運營ニ付

キマシテ、單ナカル形式的ナ行キ方デナ

シニ、常ニ實體ヲ伴ツテ行クト云フ國ニ仕上

ゲナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

ゲナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

ゲナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

ゲナケレバナラナイト云フ立場カラ致

シマシテ、色々ナ此ノ法律ノ規定ノ内

面ニハ、必ず此ノ人々ノ素質ヲ育テ上

スト、人ノ働きガ形式的アリマス、成程形式的ニハ工業ナリ、土木ナリ、

其ノ他ノ運送事業ヤラ、貨物取扱ノ事

業トカ、サウ云フモノニ一箇ノ勞力ト

シテ唯釘付ニシタ、併シナガラソレ自

身アツカ、時ニ職業ノ補導ト云フ點ハ、

アリマスガ、其ノ場合ニ、唯單ニ之ヲ

ス、具體的ニ申シマスレバ、例ヘバ手

帳法ニ依リマシテ、ソレノノ持場デ

テ網スル、網ニ掛ケテ行クト云フヤウ

ナ程度デ、半島人力カ使フヤウナ工

フ點ニ付テ指導シテ人モアリマセウ

モノデアルカドウカト云フヤウナコト

ヲ専ホソレテ技術ノ向上ダトカ、或ハ

其ノ技術ニ對スル意欲デアルトカ云フ

ヤウナモノガ、果シテドレダケ育ツタ

ガアツタノデアリマスガ、併シナガ

ラ、ドツチカト言フト、唯一勞務トシ

テ網スル、網ニ掛ケテ行クト云フヤウ

ナ程度デ、半島人力カ使フヤウナ工

フ點ニ付テ指導シテ人モアリマセウ

ガ、ドツチカト言フト、唯一勞務トシ

テ網スル、網ニ掛ケテ行クト云フヤウ

第三回

第六回第四回

第三回

第二回

第一回

第三回

第六回第四回

第三回

第二回

第一回

第三回

銘ガ自覺體トシテ本當ニ小ヤカナ
資材ト、機械ト、材料ノ中カラ、日本
ノ全力ヲ發揮シテ行カナケレバナラ
イト云フヤウナ、所謂自覺シタ務者
ト云フヤウナモノヲ作ツテ行カナケレ
バナラナイコトニナルト思ヒマス、是
ハ唯文部省デサウ云フヤウナ基礎的ノ
鍛成ヲ學校デスルト云フヤウナ段階ダ
ケニ託シテ置イタノデハ、是ハ生キタ
モノニハナラヌノアリマシテ、今後
ニ於テハ厚生省ノ前並アリマスル國
民生活ノ保護指導ト云フヤウナコトカ
ラ言ヒマシテモ、實際ニ厚生省ノヤリ
方ノ中ニそツト教育的ナト言ヒマス
カ、國民ヲ「リフ・айн」シテ行クト云
フヤウナ意味ズ、そツト教養シナガラ
上へ引張ツテ行クト云フヤウナ、サウ
云フ面ガ相當進ンデ行カナケレバ、又
再び戰爭中ノ愚ヲ繰返スト云フヤウナ
コトニナリハシナイカト思フノアリ
マス、ソレ等ニ對シマシテノ御所見ハ
如何デアリマスカ

告シテ貰ヒマシテ、是ハ色々作業ニ依テモ遠ノゾアリマスガ、大體一級カラ三級程度ニ技能ノ程度ヲ區分ケ致シマシテ、場合ニ依リマシテハ本人ノ技能ノ程度ノ申告ニ依リマシテ、之ヲ國自ラガ検査ヲシテ技能ノ判定ヲスルト云 フヤウナ所マデ考ヘタノデゴザイマス、唯遺憾ナガラ御話ノヤウニ色々錯雜シタ事情ノ爲ニ、サウ云フ方面ニ對スル手當ハ十分ニ出来ナカツタコトハ事實デゴザイマシテ、斯ウ云フ點ハ御話ノ通りニ厚生省トシマシテヘ、勿論御示シノ方向ニ向シテ努力ヲシナケレバナラヌトス様ニ考ヘテ居リマス〇高城委員 挑戦ノ程度、段階ヲ育てる意味カラ想定シテ其ノ能力ト仕事トガ結付イテ行クト云フヤウナコトニ付キマシテ、大イニ其ノ趣旨デヤツチ行キタイト云フ御話、和ニ期待ニ堪ヘナインデアリマス、是非一ツスウ云フ面ニ付キマシテハ、厚生省内ニ新タナル雲間氣トシテ、性格ヲ一步前進サシテ戴キタイ、大體厚生省ノ仕事ト云フモノハ、最近ニ起シタ仕事デアリマスカラ、省トシテノ一ツノ雲間氣ト云フモノガマダ本當ニ能ク出来上ツテ居ナリマスノデハナイカト考ヘル、併シ實際ニハ國民生活ノ向上ヲ圖ルト云フ面ニ付キ重大ナル内容ヲ持ツ所管省ニナルト考ヘテ居リマス、隨テ國民生活ノ保護指導ト云フヤウナコトガアリマスルガ、保護指導ト云フ字句ガ、更ニヨリ深イ内容ヲ持ツテ溢レ出テ來ルヤウニ、一層ノ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體中小ノ工業ヲ振興サス、而シテ貢ガ、保護指導ト云フヤウナ所マデ考ヘタノデゴザイマスガ、又商業ガ展開セラレルト云フヤウニコトニ依ツテ、過剰人口ノ處理並ニ百大財閥ノ脱落ニ依ル重點ヲ、而モ全面的ナル多數ノ國民總力ノ中カラ是ガ

上ツテ來ナケレバナラナイ、實ニ軍事ナ
ナ方向ヲ持ツて居ルノアリマスルカラ
テ、總テノ勤勞ニ立ツ者ガ全部一流ニ
派ヲ開ク、或ハ一體一能ヲ展開スルト
云フ面ニ付テ、自體トシテ立上ラヌ云
ケレバナラヌ、隨ヒマシテサウ云フヤ
ウナ意味カラ、中小ノ商工業ガアツチ
コツチニソレヽノ趣ヲ以テ大ニ躍
動シテ來ナケレバナラヌ、ソレニハ先
づ人ノ意欲ガ起ラナクチヤナラヌ、其
ノ意欲ニ伴ウテ、ソレニ關スル資材、
工場或ハ金融ト云フヤウナモノガ逐次
ニソレニ充足セラレナケレバナラヌカラ
イ、厚生省トシテハ事業ヲ皆方起サ
ウトスル意欲ニ對シテ十分ナル保護指
導ヲ與ヘテ下スツテ、ソレガ商工省系
列ニ向ツテ懃キ掛ケテ行ク面ニ付テ、
厚生省ガ重大ナル授護、觸發者デナケ
レバナラナイ、人ノ心ガ閉塞ラテ居リ
マシテハ開キヤウガアリマセヌカラ
且非サウシタ面ニ一層ノ御精勵ガ願ヒ
タイト思フノアリマス、尙ホ附加ガ
マスガ、國民勤労運動員警、是ハ今後ト
ウ云フヤウナ方向ヲ取ツテ運營セラレ
ルコトニナリマスカ、其ノ御指示ガ
ダイノデアリマス

次第テゴザイマス、隨分以後ハ廣大ナ
失業者ヲ擁シマシテ、是等ノ失業者ノ
方々ノ職業ノ紹介、職業ノ斡旋ニ專念致
ス。次第テゴザイマス、其ノ爲ニ戰時中
兎角強權ニ趨リ、過チモ多カツタ勤務
署ニテゴザイマスノデ、特ニ職員ノ心機
ヘト申シマスカ、頭ノ切替ニ付キマシ
テハ強ク指導ヲ致シマシテ、本當ニ空
口デ親切ニ國民ニ接觸シ、オ世話申上
ゲルヤウニト云々態勢ノ切替ニ付キマ
シテハ、終戰後直チニ各種ノ指令モ發
シマシテ、又我々モ出向キマシテ、廿
ウ云フ方面ノ指導ニ努メテ居ル次第ア
リマス。

○高城委員 勤勞署ノ職員ノ組織ハド
ウナツテ居リマスカ

○佐伯政府委員 勤勞署ハ全國デ約四
百八十箇所ゴザイマスガ、其ノ署長ハ
地方事務官デ、全部今高等官署長トナ
ツテ居リマス、其ノ勤勞署長ノ下ニ課
ガ全國ニ千人近ク居リマシテ、是が勤
勤勞署長ノ指揮ノ下ニ仕事ヲ致シテ居
リマス、ソレカラ職業ノ適正配置ヲ圖
リマス爲ユ、色々ナ技術的ノ操作ガア
ザイマスノデ、極ク少數デゴザイマス
ガ若干ノ技師、抄手ヲ配置致シテ居リ
ヤウニ實情アガザイマス。

○高城委員 其ノ屬ノ中ニハ女子ハス
シテ居リマスカ

○佐伯政府委員 局ノ前ニ主事舎ト云
ツタ時代ガゴザイマスガ、其ノ當時ニ
ハ、若干居ソタヤウニ記憶シテ居リマ
ス、現在果シテ何人位アリマスカ、口
今一寸的確ナ数字ハ持ツテ居リマス
テ、婦人ノ今後ニ於ケル勤勞指導ト云
フ面ニ關シテ、唯單ニ工場ニ關スル勤
勞ノミナラズ、農村ニ於ケル農業勤勞

ニ對シテモ之ノ指導スルハト云フヤウナ
意思ハナイカト云フヨト、第二ニハ單
ニ女子ニ限ラズ農山漁村ノ各種ノ形態
ニ關シテ勤労ノ指導ニ關スルコトヲ
ヤリニナルカナヲナイカ、ソレ等ノ點
ヲ承リタイ

○佐伯政府委員 女子ノ職員ニ付キマ
シテハ、殊ニ今後ノ色々ノ情勢ト睨ミ
合セマス時ニ、ヤハリ婦人ノ職業紹介
ニ付キマシテハ婦人ガ當ルト云フ點ガ
非常ニ宜イ場合モ多々アリマス、是ハ
職業紹介所時代ニ於キマシテハ、婦人
ノ専門部ニ於キマシテハ、女子ノ職員
ガ之ニ當ツテ居ツタト云フ事實モゴザ
イマスノゾ、今後斯ワ云フ點ニ付キマ
シテハ十分考ヘテ參リタイト思ヒマ
ス、出來マスナラバ婦人ノ専門部等ヲ
勤労署ニ設ケマシテ、ソレニハ出來ル
ダケ女子職員ヲ以テ充テルコトガ望マ
シト考ヘテ居リマス、ソレカラ各種
ノ産業ト申シマスカ、農山漁村ヲ含メ
マシテモ、労務ノ指導斡旋ニ付キマ
シテハ、勿論勤労署が當然ノ任務トシ
テ當ルノデゴザイマスガ、先刻モ職業
補導ニ付キマシテ若干申上ゲマシタヤ
ウニ、今後ハ何ト言ヒマシテモ國民全
部ガ各々ニ適當シタ職業ニ就職スルト
云フヨトガ、今後ノ日本ノ行クベキ道
デナケレバナリマセヌ、サウ云フ點ニ
對シマシテハ十分技術的、科學的ニ職
業ニ適正ト云フ點ニ付キマシテモ、研
究ヲシ萬全ヲ期シテ行キタイ、斯様ニ
考ヘテ居リマス

○高城委員 勤労署ノ職員ニ付キマシ
テハ、非常ニ勤動期デアリマシタカ
ラ、各方面カラ難多ナ人ガ其ノ職ニ就
ハアリマセヌカ、逐次専門家モ出來タ

トハ云フモノノ、ソレニ關スルマダハ
ツキリシタ基礎ハナイノデヤナイカト
恩フノデアリマス、色々ナ實社會ニ直
面シタ人カラ、集約シテ持ツテ來ルト
云フヤウナコトデ勤イテ居ルヤウデア
リマスルガ、ドウ云フヤウナ傾向ノ人ガ
成功シテ居ルカドウカ、又今後ニ於テ
ドウ云フ方面カラ人材ヲ得テ來テ、今
茲ニ新タニ構想セラレル新シキ勤勞署
ガ一ツノ新シキ労務行政フヤツテ行ク
ト云フヤウナ面ニ即應スルカ、御所見
ヲ承リタイ

○佐伯政府委員 勤勞署ノ職員ニ關シ
マシテハ、戰時中モ各方面カラ色々ナ
御批判モアリマシタシ、私共モ必ずシモ
素質力勝レタモノトハ存ジテ居リマセ
ヌケレドモ、昭和十三年ニ職業紹介所
ガ國營ニナリマシテカラ、戰時中勞務
ノ動員ト云フコトデ急激ニ擴張致シテ
アリマシタノデ、其ノ間ノ色々ナ職員
ニ致シマシテモ、併シナガラ中央ニ於
ノ養成教養等ニ付キマシテモ恩フヤウ
ニ參リマセヌア、必ずシモ十全ナ素質
ヲ持ツテ居ルト云フコトハ出來マセヌ
ニ致シマシテモ、併シナガラ中央ニ於
キマシテモ色々ナ講習所モ作リマス
シ、各縣ニ於キマシテモ其ノ養成ニ付
キマシテハ、十分ナ努力ヲ致シテ來タ
ノデアリマスガ、漸次サウ云フ人ハ整
理セラレマシテ、現在デハ職業紹介所
時代ノ經緯ヲ持ツタ人ハ寥ロ少ニヤウ
ニ思ヒマス、御話シノヤウニ今後ノ職
業紹介、職業指導ト云フモノハ、各般
ノ產業ニ接觸ヲ當然持タナケレバナラ
ナイ業務デゴザイマスノア、出來得ル
限り、各方面カラサウ云フヤウナ實際

云フ氣持ハ萬々持ツテハ居リマスルガ、何分マダ待遇等モ非薄アゴザイマスノデ、サウ云フ點ニ付キマシテモ色色改善ヲ圖リ、立派ナ職員ヲ将来ハ養

○小柳委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス、一時カラ開會致シマス
午前十一時五十七分休憩

マシテハ、職業教育ノ面ト、公民教育ノ面ト、特ニ時局ノ要請ト致シマシテ、教練ノ點ニ非常ニ重キヲ置イタコトハ、御垂

社会生活ニ必要アル職業ヲ體得セシムルト云フヤウナ方向ニ進メテ行カナレバナラナイト信ジテ居ル次第ゾガレマス

云フ氣持ハ萬々持ツテハ居リマスル
ガ、何分マダ待遇等モ非薄デゴザイマ
スノデ、サウ云フ點ニ付キマシテモ色
色改善ヲ圖リ、立派ナ職員ヲ將來ハ養
成ヲシテ、其ノ業務ニ携ハラセタイ、
斯様ニ考ヘテ居リマス
○高城委員 大變長クナツテ濟ミマセ
ヌガ、是非一ツ勤勞署ノ新シキ方向ニ
付キマシテハ、特ニ御力添ヘフ願ヒタ
イ、地方ニ於キマシテハ是ガ皆ノ新シ
イ事業意欲ノ上ニ、非常ニ重大ナ關係有
官吏ダト恩フノデアリマス、殊ニ地方
ニ分散シテ居ツテ國民ノ窓口ニナツチ
居リマスルカラ、是非一ツ中小ノ商工
業家、或ハ其ノ他色々ナ趣キノ、小ヤ
カナガラ新シイ日本ヲ建設スル業態ノ
云フモノガ勃興シテ、サウシテ今日ノ
色々ナ課題ヲ解決シテ行キタイ、考ヘ
様ニ依リマシテハ最モ私ハ重大ナ指導
官デナケレバナラヌト思フ、隨ヒマシ
テ私ノ知ル所デハ、元學校方面非當
ニ卓抜シタ訓導デアツタ人ガ署長ニニ
リマシテ、成果ヲ器ゲタ所ナドモアル
ヤウデアリマスカラ、一ツ色々ナ形ニ
因ハレナイデ、官等ヤ俸給ノ順序ナド
ニ囚ハレナイデ、此ノ役所コソ思ヒ切
ツテ人材拔擢ノ方法等デ、一ツ國民ノ
憂鬱ヲ取り去ツテ新シク起チ上ル氣持
ヲ觸発シテ、サウシテ勤勞ニ直結シテ
ク協力シテ、協力的ナ關係、觀點カラ
ドウモ役人風ヲ吹カシテシマツテ從
來ノモノハイケナカツタ、頑カラオ役
ナル使命ヲ勤勞署ニ十分與ヘテ戴キタ
人風ヲ吹カセテ行ク、アレデナシニ能
ク、サウシテ是ガ又學校等ノ關係モ、
ヤツテ戴クヤウニ一層ノ御指導ヲ願ヒ
タ、是ハ私ノ希望デアリマス、此ノ
程度ニシテ私ノ質問ヲ終リマス

○小柳委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス、一時カラ開會致シマス
午前十一時五十七分休憩

マシテハ、職業教育ノ面ト、公民教育
ノ面ト、特ニ時局ノ要請ト致シマシテ
テ、教練ノ點ニ非常ニ重キヲ置イタコトハ、御垂

社会生活ニ必要アル職業ヲ體得セシムルト云フヤウナ方向ニ進メテ行カナレバナラナイト信ジテ居ル次第ゾガレマス

○小柳委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス、一時カラ開會致シマス
マシテ會議ヲ開キマス——高城君
○高城委員 文部省ノ方が見エテ居ラレマスカラ、一ツ政府委員ニ御尋不申上
ダマス、午前一入營者職業保障法及
ビ國民労務手帳法改正ニ關スル法律案
デ、厚生省ノ方ニ御伺ヒヨ致シタノデ
アリマスルガ、ソレト引續キ開聯ヲ持
テ居リマスコトデ、要スルニ國民生
活ノ保護指導ト云フヤウナ面カラ、厚
生省ニ對シテ希望ヲ申上ス點等ニ關聯シ
マシテ、文部省ノ方デモ御配慮ヲ戴カズ
ナケレバナラナ一面ガ多々アリマス、
ソレニ關スル件ヲ中心トシマシテ、少
シク御尋本申上ゲ、或ハ希望ヲ申上ゲ
ルト云フ風ニ致シタイト考へテ居リマ
ス、復員ニ依リマシテ、非常ニ社會会
實情ガ複雜ヲ極メテアリマシタ、詰リ
青壯年層ノ保護指導ニ關シマシテ、幾
多ノ問題ガアル譯アリマスルガ、其
ノ中デ差當リノ問題トシマシテ、地方
デハ青年學校ノ教育ト云フ方面ニ付キ
マシテ、非常ニ憂慮セラレナケレバナ
リマス、此ノ青年學校ガ入營ト云フ
ヤウナコトガナクナリマシタ關係上、
サウ云フ面カラ再検討セラレナケレバ
ナラヌ面ガ、先ツ其ノ第一ノ問題ダト云
思ヒマス、新シキ青年學校ノ運用ト云
フモノガ、ドウ云フ風ニ動イテ行ケバ
宜イノカ、ソレニ關スル文部省ノ御意
圖ヲ承リタイト思ソノデアリマス
○田中(耕)政府委員 只今ノ御質問ニ
對シテ御答ヘ申上ダマス、從來青年學
校ノ營ニ居リマシタ所ノ機能ト致シ

マシテハ、職業教育ノ面ト、公民教育
ノ面ト、特ニ時局ノ要請ト致シマシテ
テ、教練ノ點ニ非常ニ重キヲ置イタコトハ、御垂

社会生活ニ必要アル職業ヲ體得セシムルト云フヤウナ方向ニ進メテ行カナレバナラナイト信ジテ居ル次第ゾガレマス

マシテハ、職業教育ノ面ト、公民教育ノ面ト、特ニ時局ノ要請ト致シマシテ、教練ノ點ニ非常ニ重キヲ置イタヤウナ次第デゴザイマシタコトハ、御運知ノ通りデゴザイマス、所デ此ノ教練ニ面ト、特ニ時局ノ要請ト致シマシテ、教練ノ點ニ非常ニ重キヲ置イタヤウニ、此ノ入營ト云フヤウナコトガラ比較的ニ閃却セラレテ居ツタノデハナカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデゴザノマス、所デ先程御指摘ニナリマシタコトヤウニ、此ノ入營ト云フヤウナコトガラ比較的ニ闪却セラレテ居ツタノデハナカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデゴザノマス、所デ先程御指摘ニナリマシタコトヤウナクナリ、又教練ト云フヤウナコトモ必要デナクナリマスルト、今マデノ寄年學校ノヤツテ居ツタコトハ、總て骨抜キニナツテシマフノデハナイカ、隨テ此ノ青年學校ノ運用ノ點ニ付テモ、再検討ノ要スルノデハナイカト云フコトハ、洵ニ御尤モナ御考ヘデアルト存ズル次第ゴザイマス、文部當局ト致シマシテモ、此ノ點ニ付キマシテ、青年學校ヲ今後ドウ向ケテ行クカト云フコトハ、全國多數ノ青年ニ關スルコトデゴザイマシテ、國家的ニ見テ又教育的ニ見マシテ、非常ナ重大ナコトダト感シテ居ル次第デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ職業教育ト、公民教育ノ面ガ残り、職業教育ナリ、公民教育ノ本來ノ面目ニ從シテ、青年學校ハ活動シタルス必要ガアル、其ノ各地方詰リ「ローカル」ナ特色ニ關係致シマシテ、青年學校デ學び所ノ青年ヲシテ、具體的ノ實情ニ即シタ役ニ立ツヤウナ職業教育ヲ施ス、單ニ抽象的ナ學理、理論ト云フヤウナモノヲ机上デ教ヘルノデハナカヌシテ、實地ノモノニ即シタ、本當ニ

社会生活ニ必要アル職業ヲ體得セシムルト云フヤウナ方向ニ進メテ行カナレバナラナイト信ジテ居ル次第ゾガレマス

社会生活ニ必要アル職業ヲ獲得セシム
ルト云フヤウナ方向ニ進メテ行カナケザレ
バナラナイト信ジテ居ル次第デゴザ
イマス

ソレカラモウ一ツハ公民教育ノ面ア
ゴザイマス、是モ申スマデモナク本當
ノ公民トシテノ訓練ガ現在日本國民ニ
於テ十分デナイ、隨テ選舉權ノ範圍
ガ擴張サレマシタニシマシテモ、之ヲ
使スル所ノ者ガ本當ノ公民意識ナリ、公
民トシテノ識見ニ於テ不十分デアルト
致シマスルナラバ、國ノ政治ヲ善クシ
テ行クコトハ出來ナイト云フ譯ニナリ
マス、此ノ公民トシテノ意識ヲ高メ
又識見ヲ廣メル云フヤウナコトニ付
キマシテハ、是ハ各方面ニ於テ行ハ
ナケレバナラヌノデアリマスガ、殊ニ
青年學校デ學ブ所ノ青年將ニ働キ掛ケ
ルト云フコトガ、極メテ重大ナコトニ付
存ズルノデアリマス、隨テ青年學校ニ於
ケル公民教育ハ特ニ重要デアリマス
シ、此ノ公民教育ノ内容ニ付テモ從來
ノ形骸化シタ、唯法制經濟ノ項目ヲ竝
ベルト云フヤウナ意味デハナクシテ、
今後ノ政治ノ要望ニ適フヤウナ本當ニ
立派ナ公民トナリ得ル如キ教育ヲ施サ
ナケレバナラナイト信ジテ居リマス、
此ノ公民教育ニ付キマシテハ現在公民
教育ノ刷新ニ關スル委員會ガ文部省内
ニ設置セラレマシテ、其ノ方面ノ練達
ノ士ヤ、學識經驗アル方々ヲ招キマシ
テ、成案ヲ得ツ、アルヤウナ次第デゴ
ザイマス、此ノ結果ニ應ジマシテ青年
學校ニ於ケル公民教育モ改善サレルヨ
トト存ジテ居リマス、尙ホ青年學校ノ
體ノ制度ノ檢討ト云フコトモ、是ハ必
要デハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付
キマシテハ學校教育全體ヲドウ云フ風
體ノ制度ノ檢討ト云フヤウナコトニ應

○高城委員 今ノ具體的ナ問題ニ付キ
マシテ、職業教育ノ點デ所謂即時即物
ト云ヒマスカ、物ニ即シ時代ニ即シテ
教育スルト云フコトニナラナケレバナ
ラヌ、農村デハ自宅デ農業ニ一生懸命
働イテ居ル譯アリマス、然ルニソレ
ヲ學校へ引張リ出シテ、又實習地ア仕
事ヲヤラセル、而シテ指導者ハ成程立
派ナ教養ヲ積ムダ指導者デアリマスケ
レドモ、ドチラカト云ヘバ學校内ノ生
産ト云フヤウナ色々ナ出來高等ニ氣ヲ
取ラレテ、學校ガ何ボ開拓シタトカ、
學校自體ノ一ツノ何ト言フカ、ソレニ
即キ過ギタ興味ヲ以テ運営ラスル、隨
テ學校ハソレデ面白イカモ知レマセヌ
ガ、生徒其ノモノハ唯單ニ勞務ヲ供與
シタト云フコトニ終ツテシマツテ果
シテソレガ綜合的ニ見テ人ノ鍛成ニナ
クテ居ルカドウカ、或ハ又ソレカラ出
認シタ所謂生產ノ實體ニ觸レテ行クト
云フコトニナルカドウカ、頗ル疑問ガ
アルノデアリマスガ、其ノ點如何デア
リマセウカ

○高城委員 終戦後青年學校ノ教育ニ付テバ、今日マデドウ云フヤウナ指令致シマシタ、是ハ青年學校ノミナラズ、一般學校ニ付キマシテモ「マツカ一サー」司令部ノ方ノ指令ニ基キマシテ、サウ云フコトニナリマシタコトハ御推察ノ通りデゴザイマス、ソレカラ九月ニナリマシテカラ女子ノ就學ノ一層徹底セシメル必要ガゴザイマステ、其ノ點ニ觸スル指令ヲ出シマンタ、ソレカラ十月ニナリマシテカラ女子ノ就學ノ一層ノ徹底化ヲ圖リマシタ譯アリマス、指令トシテ出シマシタモノハ、其ノ位ノモノデゴザイマス
○高城委員 終戦後ノ青年學校ノ男子ノ出席率ハ殆ド零ニナツテ居ルノデスガ、ソレニ關スル措置如何、ソレカラ第二ニ、復員後復員生徒等ヲ中心トシテ喫煙等ハ勿論ノコト、其ノ他ノ惡習ガ非常ニ青年學校ニ出テ居ル趣キガアリマスガ、ソレ等ニ關シテ御認メニナツテ居ルカドウカ、或ハ對策等ガアリマスレハ伺ヒタイト思ヒマス
○田中(耕)政府委員 御答へ申上ダマス、八月ニナリマシテカラ教練ヲ廢止ヲ出シテ居ラレマスルカ、其ノ實際ヲ承リタイト思ヒマス
○田中(耕)政府委員 御答へ申上ダマス、八月ニナリマシテカラ教練ヲ廢止致シマシタ、是ハ青年學校ノミナラズ、一般學校ニ付キマシテモ「マツカ一サー」司令部ノ方ノ指令ニ基キマシテ、サウ云フコトニナリマシタコトハ御推察ノ通りデゴザイマス、ソレカラ九月ニナリマシテカラ女子ノ就學ノ一層徹底セシメル必要ガゴザイマス、指令トシテ出シマシタモノハ、其ノ位ノモノデゴザイマス
○高城委員 終戦後ノ青年學校ノ男子ノ出席率ハ殆ド零ニナツテ居ルノデスガ、ソレニ關スル措置如何、ソレカラ第二ニ、復員後復員生徒等ヲ中心トシテ喫煙等ハ勿論ノコト、其ノ他ノ惡習ガ非常ニ青年學校ニ出テ居ル趣キガアリマスガ、ソレ等ニ關シテ御認メニナツテ居ルカドウカ、或ハ對策等ガアリマスレハ伺ヒタイト思ヒマス
ニ、色々改善シナケレバナラナイ點ガアリマス、其ノ一ツシテ大いニ考慮致シタイト存シテ居ル次第デゴザイマス

フコトハ、左様ニ運ヒナイト云ノアリニ存ズル次第アリマス、ドレ位一體出席率ガ低下シテ居ルカト云フコトハ存致シマシテ一層ノ點ニ留意致シマシテ、出席ヲ極力獎勵スルヤウニ致シタトイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ喫煙等ノ惡習慣、是モヤハリ一般的ノ弊害デゴザイマシテ、是ハヤハリ公民教育ナリ、或ハ倫理ナリ、サウ云フヤウナ方面ニ於マシテ、現在學校全體ニ付キマシテ甚其遺憾大狀態ニナツテ居リマスノデ、サウ云フ點モト分今後公民教育ナリ、倫理教育ノ徹底ニ依リマシテ、一般的ニハ總てノ學校ニ對シテ、又特ニ青年學校ニ付キマシテハ、サウ云フ缺陷ガ多イカト存ジマスルノデ、大イニ努力シタイト在ジテ居ル次第デゴザイマス

ノ意義ヲカツテ居ツタノテアリマスが、此ノ八月ニ教練廢止ノコトガアツタ事致シマスレバ、ソレト關聯シテ直グ所謂教育ノ指向ヲヨニ立テテ、シテ新ナル方策ガ立テラレナケレバ、ナラナカツタ譯デアリマス、隨ヒマシテソレニ關スル對策デアリマスガ、風校教育ノ刷新委員會ヲ作ツテ、ソシテム」デ、昔カラサウ云フ風ニ仕來りガツ、サウ云モノヲ考ヘテ行クト云フヤウナコトデアリマスルガ、サウ云ノモナコトデアリマスガ、風宜イデセウガ、是ハモウ「マンネリズム」デ、昔カラサウ云フ風ニ仕來リガツ、ナツテ來テ居ル、是デヤイカヌ、寧ロ青年學校等ノ對策ニ付テハ、コツチカラ處置ヲストルカ教ヘテヤルトカ云フト云フヤウニ一ツノ方策ヲ立テラレルト云フコトモ一方チヤナイカ、更ニヤ校ノ教職員ノ率直ナル意見書ヲ集積シテ、ソシテ其ノ中カラ珠玉篇ヲ見出スルガ、如何デゴザイマスカ

シタ改善ニ努力シナケレバナラナイト
云フコトニナリマスルト、ヤハリ只今
御示駿ニナリマシタヤウニ、現場ノ職
員ノ意見ヲ徵スル、又各縣ノ青年學校
教職員ノ獻策ヲ徵シテ宜イデヤナ
カト云フ御話デゴザイマシテ、是ハ洵
ニ適切ナル御示駿ト存ジマス、文部省
ト致シマシテハ、此ノ教育制度ノ刷新
ニ付キマシテハ、出來ルダケ「テモク
ラチック」ニヤツテ行キタイ、委員會
ノ構成ナドモ、ヤハリ從來ノ竝ビ大名
式デナクシテ、本當ニ其ノ道ノ「エキ
スパート」ナリ、或ハ教育ノ専門家バ
カリデハナク、或ハ實業家トカ、或ハ農
村方面ノ人々ダトカ、廣ク社會ノ經驗
者、有識者ヲ集メタイト云フヤウナ方
向ニ段々向イテ參ツテ居リマス、サウ云
フ意味ニ於キマシテ、青年學校制度ノ
改善ナリ、或ハ具體的ノ運營ノ方法等
ニ付キマシテモ、最モ現場ト直接ニ關
係ノアルヤウナ方々ノ意見ヲ出來ルダ
ケ参考ニシタイト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、サウ云ノ意味ニ於キマシテ只今
ノ御示駿ニナリマシタ點、甚ダ有難ク
承ソタヤウナ次第ナエザイマス

シニ持ツテ行カナケレバナラヌ面ガ多々
アリマスケレドモ、今日ハ生活ト云
フモノニ本當ニ血ミドロナ修業ヲ積
デ生キテ行カナケレバナラナイ地方
民、又ハ生キト戰爭乃至敗戦ノ體験ヲ
積ンダ地方民デアリマシテ、ソコカラ
生活ラドウ確立スルカ、或ハ社會ヲ
ウ云フ風ニ轉成スルカ、或ハ地方町村
自治體ヲドウ云フ風ニ運營スルカト云
フコトニ付テノ素材ナリ、感覺ナリハ、
モウアリ餘る程地方ニアルノザアリマ
ス、モウ逆モ普通ノ簡單ナル座談會ア
タリデモノヲ組立テ行カウト云フヤ
ウナ、サウ云フ時ノ空氣トハ違ツテ、
實際ノ表現コソ出來ナイノズケレドモ、
學校ハ斯ワ云フ風ニシテ貰ハナケ
レバ困ル、斯ウ云フヤリ方ハイケナイ
ト言ツテ、實ニ豐富ニ民間ニハ教育ニ
關スル所ノ内容ナリ、或ハ形式ニ對ス
ル意識ナドト云フモノガ生活ニ直結シ
テ居ル譯デアリマス、デアリマスルカ
ラサウ云フ面ヲ土壌トシテ教育ヲ考へ
テ行カウトナサル政府委員ノ御考ヘ
ハ、非常ニ時宜ヲ得テ居ルト思ヒマス
シ、其ノ點ニ付キマシテハ局長トシテ
期待セラレテ重任ニ就カレテ居ルノデ
アリマスカラ、此ノ際從來ノ行キ方ラ
變ヘマシテ根本的ニサウ云フ點ニ付
テ新タナル手ヲ打ツテ裁キタイト云フ
コトヲ期待ニ堪ヘナインデアリマス
實際經營ニシマシテモ、例へバ私ハ廣
見島ノ者デスガ、鹿兒島縣ノ青年學校
ト云フモノハ天下ニ一時語ハレタノデ
アリマス、鹿兒島ノ青年學校ノ意見ヲ
積ム青年學校ニモ一ツノ参考ニナルナ
シテスルコトニ依ツテ、例へバ東北ノ縣
ノ青年學校ニモ参考ニナル、又田園地

磯勝勝ヲサレナケレバナラヌ、言換へ
レバ文部省ガソレヲ躉旋シ運用スル、
其ノ活キタ實體ヲ運用スルト云フ形ニ
ナツテ行ケバ、十分青年學校革新ノ方
策ハ其ノ實體ヲ地方ニ持ツテ居ルト者
ヘラレルノデアリマス、話ガ結論メイ
タ所ニ入ツテシマヒマシタガ、是ハ結
局サウ云フヤウナコトカラ、又具體的
ノ問題ニモ入ツテ参リマス、例ヘバ斯
ウ云フヤウナ意見ナドガアル、其ノ
ツデスガ、今ノヤウニ一週間ニ二遍出
テ、型バカリノ教育ヲ受ケテ、情熱ガ
全然育タナインニ休ミバカリ連續スル
ノデスガ、サウ云フ風ナコトヲ止メテ、
一週四日位連續ノ教育ヲヤツテ、三年
位ノ通年制ニシタナラバドウデアラウ
カト云フヤウナコトヲ言ツテ居ルノデ
アリマス、勿論地方ノ要望ハ唯ソレ一
ツデハアリマセス、多々アリマス、或ハ
第二ニハ青年學校英語教授ヲ開始シテ居
賈ヒタイト云フヤウナコトモ述ベテ居
リマヌ、第三ニ、入營ニ代ルベキツク
ノ國民鍊成——入營ヲ一ツノ國民鍊成
ノ機會ト見タ考へ方テアリマスガ、ソ
レニ代ルベキツクノ方策トシテ、青年
ノ身心共ニ其ノ國家的要請ニ叶フテ居
ルカ否カフバ「テスト」スル一ツノ國家
試験、青年試験ト云フヤウナモノノ從
前ノ徵兵適齡期ニ之ヲ施行スルヤウナ
コトヲヤツタラドウカ、丁度體力検定
證ノヤウナ形デ青年ノ檢定ト云フヤウ
ナコトヲヤル、ソレヲ日途トシテ青年
學校ヲ運營スルト云フヤウナコト等ハ
如何、或ハ又第四ニハ折角學校内ニ
軍需工場ナリ、協力工場ナリガ出來タ
ノデアリマスルガ、サウ云フヤウナ設
校工場マデハ行キマセヌデシタガ、既

備等ヲ、徒ラニ大キナモノハ別アズガ
田舎ノ小サナモノナドハ存置サレ得ル
ノアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テ文部省
省ガ此ノ動搖期ニ積極的に乘出シテ、何
故之ヲ青年學校ノ教育、内容ニ持ツテ行
クト云フ構想ガ倫カナカツタノアリテ
ウカ、ドウモ文部省ハ迂闊テ後手バカ
リ打ツテ居テ、折角學校ニ發電機ナド
ツ置イテ、ドウダ希望ダツタラヤラ
カト云フヤウナコトヲ申シ出ル校長等モ
アツタノデアリマスガ、サウ云フ面等
ニ付テノ敏捷シヨイ處置ガ文部省ニアリ
イ、從來ノ慣例デ自ラ縣廳ノ青年學校
ノ係等ハ觸ラヌ神ニ崇リナシデスカ
ラ、宜イ加減ニ上の方ノ指示ガナイト
カ云フコトデ片ツ端カラ片付ケラレ、
結局終戰後ノ狀態ハ虛脱ノ狀態ニナツ
テシマツタノデアリマス、是ハ極ク一
例デ申シタノデアリマス、マダノ語
レバ千萬語デモ盡キナイ、是等ノ實際
ノ體驗的ナ希望ガアルノデアリマスル
ガ、差當リサウ云フ小サナ問題ノ御所
管、竝ニ全體トシテ速急ニサウシタ革
新對策デ、而モ青年學校令ノ改正ト云
フヤウナコトナドハ別トシマシテ、今
ノ虛脱ヲ過程的ニ放置シテ置カナイト
云フ面カラ、速急ナル革新案ヲ青年學
校自體ノ手ニ於テ確立シテ、明日ト言
ハズ文部省ガ持ツテ居フル學校教育
ノ理想ヲ青年學校デ實現シテ行クト云
フヤウナ形ニ、御手配が願ヘナイカド
ウカト云フコトヲ御尋不申上ゲタイト
思ヒマス

定ラ、試験的ノモノヲヤルノモ宜イデ
ハナイカト云フヤウナ數々ノ御指教ナラニ
ナツタ點、十分考慮シタイト思フノデ
アリマス、要シマスルニ今日確カニ
年學校ハ、マダ〜虚脱状態ニアリマズ
スノデ、是ハ何トカシナケレバナラニ
目改正ニ付キマシテ指示ヲ致シタイト思フノデ
イテ存ジマスノデ、最近數日中ニ今日
ノ青年學校教育ニ關スル教育方針ノ要
存ジマスノデ、申スマデモナク青年
學校ハ他ノ學校ト異ツテ、學校教育ト
社會教育トノ中間ト云フヤウナ性質ヲ
持ツテ居リマスノデ、サウ云フ意味ニ
於キマシテ、他ノ學校改正ノ頭テ以テ
ハ出來ナインデアリマシテ、其ノ點十
分實情ニ即シタヤウニ考ヘマシテ、今
日御話ガアリマシタ點ヲ十分参考ニ致
シマシテ、今後ノ方針ト致シタイト存
ジマス、其ノ意味ニ於キマシテ厚ク御
禮申上ゲル次第アリマス

○高城委員 今日我々ハ青年ヲ護ラ
ケレバナラスト思ヒマス、青年ノ士氣ヲ
ヲ鼓舞シナケレバナラスト思ヒマス、
ソレニ關スル御所見ヲ承リタイノデアリマス

○田中(耕)政府委員 仰セノ通りニ今
日、特ニ終戦後ニ於キマシテ青年ハ、
或ハ學徒ハ虛脱状態ニアルノデハナイ
カト思ヒマス、此ノ點無理モナイコト
ト存ジマス、ト申シマスノハ今マデ非
當時局ノ政府ニ於キマシテ執ツテ居ツ
タ方策ト全ク違ツタ方策ガ、此ノ八月
十五日以後ニ示サレテ居ルヤウナ譯ニ
アリマス、是ハ學徒ノミナラズ、教職
員全體ガ適從スル所ヲ知ラナイト云
タカ、今マテノ眞理ハ今日虚偽ニナツ

タ、或ハ今マドノ虚偽ハ今日眞理ニナツタノカト云フヤウナコトニ付キマシテ、根本的ニ疑問ヲ教育者ガ持ツテ居ルノザハナイカ、又其ノ教育者ニ指導セラレツ、アル所ノ學徒モ持ツテ居ルノデハナイカト思ヒマスノデ、只今ノ御話ノヤウニ、我々ハドウ云フ風ニ此ノ青年ヲ鼓舞シナケレバナラナイカ、ドウ云フ風ニ國民トシテノ生甲斐ヲ見出スヤウニシナケレバナラナイカト云フコトガ、現下ノ問題ハナイカト思ヒマス、之ニ付キマシテハ既ニ文部省ト致シマシテ、或ハ大臣、次官等ノ「ラジオ」講演、其ノ他或ハ教育者ヲ集メテノ訓示ナリ、又文部省ト致シマシテ、新教育ノ方針ヲ色々々機会ニ於キマシテ闡明シタノデゴザイマス、問題ハ詰リ眞理ニ對スル尊重ノ念ト云フコトガ一番大切デゴザイマシテ、從來單ナル國家目的ニ、奉仕スルト云フコトガ、是ガ道德ナリ或ハ文化ト云フコトノ目的アツタノデゴザイマスガ、其ノ結果國家目的ト云フモノガ軍國主義デアレバ、侵略主義ノ目的ニ奉仕スルノガ道德ナリ、文化ノ目的ニアツタト云フ風ニ考ヘラレル譯デゴザイマス、所ガ今日平和國家或ハ文化國家ヲ建設スルト云フコトニナリマスト、國家ガ平和ナリ文化ナリニ奉仕シナケレバナラナイ、ソコニ詰リ國民全體、或ハ學徒ノ生甲斐ガ見出サルベキデアリマシテ、國家モ亦眞理ナリ文化ナリヲ尊重シナケレバナラナイ、隨テ國家ノ一員テアル人民ナリ或ハ學徒ナリモ、其ノ眞理ニ、或ハ文化ニ、或ハ道義ニ奉仕スルコト自身ガ國家ノ理想的ナル人民トシテナスベキ所デアル、考ヘナケレバナラヌ所デアルト云フ風ニ考ヘルヤウニ青年學校ヲ指導致シマスコトニ依ツ

御意見ヲ伺ヒタイト考ヘテ居リマス

○田中(耕)政府委員 只今御指摘ニナ

リマシタ三ツノ點デゴザイマスガ、學

校ノ運営ニ關スル物的方面、是ハマ

ダ、甚ダ不備デゴザイマス、殊ニ戰

災ノ結果焼ケタ所ノ學校モ多々ゴザイ

マス、サウ云フ點ニ付キマシテハ、臨

時措置トシテ御承知ノ通リニ色々

ノ施設等ヲ轉用スルト云フヤウナコト

モ、出來ルダケ斡旋シテヤツテ居ルヤ

ウナ次第デゴザイマス、尙ホ併シ現状

ニハ決シテ満足出來マセヌ、學校復興

部ト云フヤウナ特別ナ部面ヲ文部省ノ

中ニ設ケマシテ、更ニ斡旋ヲ圓滑ニシ、

強化シナケレバナラナイト云フヤウナ

コトモ考ヘテ居リマス、併シ其ノ外尙

ホ各學校、殊ニ中等學校等ニ於ケル設

備モ甚ダ不完全ナ狀態デアリマセウ

シ、サウ云フ方面ノ充實ハ豫算ノ許

限リ、或ハ必要ナラバ豫算ヲサウ云フ

方面ニ要求シテモ整備シナケレバナラ

マス、併シナガラ經濟上ノ制限ガゴザ

イマスクラ思フヤウニハ參リマセヌ

ケ豊富ニシナケレバナラナイ譯デアリ

マスト、教科書ノ改訂ト云フコトハ現

在ノ非常ナ大キナ問題ニナツテ居リマ

ス、内容ノ點ニ付キマシテ軍國主義的、

國家主義的ナ内容ガアルナラバソレヲ

削除シナケレバナラズ、削除シタ結果

今度ハ骨抜キニナツテシマフト云フコ

トデハイケマセヌノテ、新タニ新教育

方針ニ即應シタヤウナ良イ材料ヲ取入

レナケレバナラスト云フコトニナリマ

シテ、是ハ大變ナ困難ナコトデアリマ

ス、併シ飽クマデモ慎重ニヤラナケレ

バナリマセヌ、出來ルダケ早イ機会ニ

於テ教科書ノ改訂ニ關スル委員會ヲ設

ケテアルト云フコトニナツテ居ルヤウ

ナ次第デアリマス、ソレカラ一番大切

者ガ衣食住ノ點ニ付テ獨立シテ居ナケ

レバ、本當ノ教育家トシテノ品位ヲ保

ツコトハ出來ナイト存ズルノデアリマ

ス、ソレハ教育家ガ社會的或ハ政治的

ニ獨立シテ、如何ナル權柄ニモ如何ナ

ル富ニモ頭ヲ下ダネナイト云フ所ニ、教

育家ノ使命ト云フモノガアル譯デゴザ

イマス、若シ衣食住ノ生活ニ於テ奮力

サレテ居ルトカ、或ハ他ト比ヘテ非常

ニ劣ツテ居ルト云フコトデアリマスナ

ラバ、教育家ノ使命ハ完全ニ果シテ行

イカト思フノデアリマス、隨テ教育家ハ

タガ出來ナイト云フコトニナリハシナ

トガ出來ナイト云フコトニナリハシナ

カラ現ハレテ居リマシテ、其ノ點ニ付

テ文部省ト致シマシテモ非常ニ意ヲ強

ウ致シテ居ルヤウナ次第テアリマス、

於テモ隨分サウ云フ要望ガ色々ナ方々

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ハ現在他ト比ヘテ、殊ニ昇給ノ年限

等ヲ考ヘテ見マスト、非常ニ低イヤウ

ナ狀態デアリマス、又質與等モ少イ、

假ニ實質的ノ收入ノ面カラ考ヘテ見マ

スト、他ノ官公吏ナリ或ハ實業ノ方面

ニ從事シテ居ル人々トノ間ニ關キガア

ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キ

シテハ出來ルダケ考慮致シマシテ、豫

算ノ面ニ於キマシテモ大減省當局ト十

分折致シマシテ、他ノ官公吏ヨリモ

存ジテ居ル次第デアリマス、

○高城委員 今ノ問題ニ付キマシテ文

務省トシテハ率直ニ申シマスト、サウ

云フ方面ニ大イニ政治的ナ懶キラシテ

貢ヒタイ、所謂中央ニ於ケル各般ノ政

務ニ關聯シテ居ル最後ノモノデアリマ

スカラ、教育ノ内容等ニ付テノ運用

上ノ色々ナ規矩準繩ニ付テハ地方ノ自

治ニ任シ、本當ニ主力ヲ注グベキコト

ハ所謂學校教育體制ト云フモノヲ確立

スル、是ハ所謂教育ガ動イテ行ク總テ

ノ要素、特に今申シマシタ資材ノ面等

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ハ現在他ト比ヘテ、殊ニ昇給ノ年限

等ヲ考ヘテ見マスト、非常ニ低イヤウ

ナ狀態デアリマス、又質與等モ少イ、

假ニ實質的ノ收入ノ面カラ考ヘテ見マ

スト、他ノ官公吏ナリ或ハ實業ノ方面

ニ從事シテ居ル人々トノ間ニ關キガア

ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キ

シテハ出來ルダケ考慮致シマシテ、豫

算ノ面ニ於キマシテモ大減省當局ト十

分折致シマシテ、他ノ官公吏ヨリモ

存ジテ居ル次第デアリマス、

云フ意味カラ天下御免ト云フモノヲ學

校ニハ保有シタイモノダト云フコトヲ

ニハ觸覺ヲ持テ、感覺ガ伸ビテ行カナ

ソレハ教育ノ内容ガ非常ニ國家性ヲ帶

ビタ廣汎ナモノデアリ、文化ノ縮圖テ

アリマスカラ、如何様ナコトデモ學校

モノガ社會的ニ獨立ノ地歩ヲ確立シテ

居ナイト云フ實態ヲ物語ルモノデアリ

スガ、學校ノスルコトハモウ總てニ優

シテシマフ、是ハ即チ學校體制ト云フ

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ハ現在他ト比ヘテ、殊ニ昇給ノ年限

等ヲ考ヘテ見マスト、非常ニ低イヤウ

ナ狀態デアリマス、又質與等モ少イ、

假ニ實質的ノ收入ノ面カラ考ヘテ見マ

スト、他ノ官公吏ナリ或ハ實業ノ方面

ニ從事シテ居ル人々トノ間ニ關キガア

ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キ

云フ意味カラ天下御免ト云フモノヲ學

校ニハ保有シタイモノダト云フコトヲ

ニハ觸覺ヲ持テ、感覺ガ伸ビテ行カナ

ソレハ教育ノ内容ガ非常ニ國家性ヲ帶

ビタ廣汎ナモノデアリ、文化ノ縮圖テ

アリマスカラ、如何様ナコトデモ學校

モノガ社會的ニ獨立ノ地歩ヲ確立シテ

居ナイト云フ實態ヲ物語ルモノデアリ

スガ、學校ノスルコトハモウ總てニ優

シテシマフ、是ハ即チ學校體制ト云フ

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ハ現在他ト比ヘテ、殊ニ昇給ノ年限

等ヲ考ヘテ見マスト、非常ニ低イヤウ

ナ狀態デアリマス、又質與等モ少イ、

假ニ實質的ノ收入ノ面カラ考ヘテ見マ

スト、他ノ官公吏ナリ或ハ實業ノ方面

ニ從事シテ居ル人々トノ間ニ關キガア

ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キ

云フ意味カラ天下御免ト云フモノヲ學

校ニハ保有シタイモノダト云フコトヲ

ニハ觸覺ヲ持テ、感覺ガ伸ビテ行カナ

ソレハ教育ノ内容ガ非常ニ國家性ヲ帶

ビタ廣汎ナモノデアリ、文化ノ縮圖テ

アリマスカラ、如何様ナコトデモ學校

モノガ社會的ニ獨立ノ地歩ヲ確立シテ

居ナイト云フ實態ヲ物語ルモノデアリ

スガ、學校ノスルコトハモウ總てニ優

シテシマフ、是ハ即チ學校體制ト云フ

ニ關シテ、或ハ衣食住ノ件ニ關シテ、

國民學校ノ先生方ノ俸給ト云フモノ

ハ現在他ト比ヘテ、殊ニ昇給ノ年限

等ヲ考ヘテ見マスト、非常ニ低イヤウ

ナ狀態デアリマス、又質與等モ少イ、

假ニ實質的ノ收入ノ面カラ考ヘテ見マ

スト、他ノ官公吏ナリ或ハ實業ノ方面

ニ從事シテ居ル人々トノ間ニ關キガア

ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キ

云フ意味カラ天下御免ト云フモノヲ學

校ニハ保有シタイモノダト云フコトヲ

ニハ觸覺ヲ持テ、感覺ガ伸ビテ行カナ

ソレハ教育ノ内容ガ非常ニ國家性ヲ帶

ビタ廣汎ナモノデアリ、文化ノ縮圖テ

アリマスカラ、如何様ナコトデモ學校

ト、ドウシテモ相互救済のノ制度ヲ獎勵スルト云フヤウナコトニ行カザルヲラ知レタモノダト云フコトニナリマス日本教育會ト云フモノハ御承知ノ通りデゴザイマスガ、是ガ今度ドゥ云フ風ニ向イテ行クカト云ソヨトハ研究問題ハナイカ、大イナル宿題デハナイカト思ヒマス、サウスルナラバヤハリサウ云ソ教員ノ經濟的ノ生活ト云フコトニモ向イテ行カケレバナラヌデハナイカ、其ノ方面ノ「サンブショーン」ヲモツトハツキシナケレバナラナイモノデハナイカト云フ風ニモ考ヘラレル、要スルニ御説ノアリマシタヤウニ消費組合、救濟制度ト云フヤウナモノノ一大ニエ教職員ノ爲ニ活用シナケレバナラナイト存ズル次第ゴザイマス。

○高城委員 大日本教育會ノ存置ヲ再検討シテ、サウシテソレニ新シキ方向ノ一ツシテ消費組合ニ代ルベキ面ヲ考ヘテ行カレルト云フコトハ、非常ニ面白イト思ヒマス、又サウ云フ面ニ付テハ是非切ツテ積極的ナコトヲ——局長トシテハサウ云フ面ニ付テモ色々過去ノコトモアリマセウカラ、是非ハスキリシタモノヲ御作リニナシテ、サウシテ地方學務行政ニ對シテモ一ツノモ色々範範的ナ運營ヲシテ貰ハナケレバナラメト思ヒマス、公正ナル輿論ニ基イテ、色々ナ新シイ體系ヲ立てテ行キタイト云フ御話デアリマスガ、之ニ付テ私共始終考ヘテ居リマスルコトハ、教育ニモノノ場合ニ、偶々時折申辯的ニ議論

マシテ、根本的ニ學校ノ教育ノ構成ニ付テ興論ヲ高調スルト云フコトガナ
イ、私ハ今後ノ文政ニ付キマシテハ勃
令中心主義ノ文政ヲ、所謂法律ヲ以テ
ト言ヒマスカ、議付テ構成シテ行クト
云フ形ニ運營サレテ行カナケレバナラ
スト思フノデアリマスガ、之ニ關スル
御意向ヲ承リタイト思ヒマス

○田中(耕)政府委員　只今御指摘ニナ
リマシタ鈴、私自身實ハ一個人ト致シ
マシテ、普段カラ疑問ニ思ツテ居ツタ
コトニ御觸レニナツタ存ズルノデア
リマス、教育制度ト云フモノハ恒久性
ヲ持ツテ居ナケレバナラヌ、朝令暮改
ヂアツテハナラナイコトハ當然デゴザ
イマス、所デソレガ容易ニ改正シ得ラ
レルヤウナ勅令ヲ出来テ居ルト云フコ
トハ、甚ダ不思議ナコトデハナイカト
存ズル次第デゴザイマス、併シナガラ
現在ノ狀態ハサウ云フ風ニナツテ居リ
マス、今後議會制度ノ尊重、其ノ適正
ナル運用ト云フコトヲ考ヘマスハト、
全ク今御話ニナリマシタヤウナ風ニ向
イテ行カナケレバナラナイノデアリマ
ス、教育ノ根幹ヲ規定スルヤウナ制度
ハ、何デモ法律デ以テ決メラレナケレバ
ナラナノイデハナイカト私一個人トシ
テ考ヘテ居リマス、然ラバドノ邊マデ
法律事項ニシ、ドレカラ先ガ勅令デ以
テ規定サレルベキカト云フコトニナリ
マスト、其ノ理論的限界ヲ何處ニ求メ
ルカ、是ハ研究ヲ要スルコトデハナイ
カト思ヒマスガ、其ノ微妙ナル限界ノ
問題ハ別ト致シマシテ、只今御話ノヤ
トシテ議會ノ協賛ヲ得ナケレバナラ
イト云フコトヲ確信シテ居ル次第デゴ

○高城委員 非常に愉快な話アリマ
シテ、是ハドウモ多年ノ調査的ナ教育
ノ方カラ申シマス間頃アリマス、是
非一ツ局長ノ御考ヘフ此ノ際文部省ノ
運賃ノ面ニ實現シテ戴キタイト考ヘル
ノアリマス、何々教育刷新委員會、
現在自立ト云フモノヲ作ツテ請問ヲ
シタ、答ヘタ、而モ委員會ノ構成ト云
モノハドウカ、妥協的ブル、又貴族
院的ナル、半足は樟浦ニ実込ンデシ
マツタヤウナ人達ガ専フ委員局ナツ
テ、羽織翁デ教育ノ商議シテ其ノ諸問
事項ヲ中心トシテ字句ノ手入レヲシ
テ、立案ノシテ、以ア是ガ教育デゴザ
ル、教育ノ議論ハサウ云フセイカ何カ
知リマセヌガ、衆議院ヨリモ貴族院ノ
方が始が澤山居テ、本論ハ貴族院ノ方
ダト云フヤウナ恰好ニナラヌデモナカ
育的ナ社會情勢万生レルモノカ、逆モ
問題ニナラナイ、衆議院側デハ兎角教
育ノコトヲ投げ棄テ來タノデアリマ
ス、隨ヒマシテ問題ハ文部省ソレ自體
ガモソツト輿論ヲ根柢トシタ教育ヲ立法
スルト云フヤウナコトニキマスレ
バ、サウ云フ點ガ解消サレルノアリマ
ス、是ハ大臣ニモ御尋ネシタコトニ
ノーツデアリマスルガ、兎モ角ソレニ
付テハ少クトモ局長ガ其ノ先陣ニ立ツ
テ、サウ云フ面ニ付テ、一つ新シキ途ヲ
開イテ戴キタイト云ソコトヲ考ヘマ
ス

省ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○田中(耕) 政府委員 只今ノ御疎不デ
スガ、戦災ニ遭ヒマシタ所ノ學校全體
ニ付テハ、先程一寸觸レマシタヤウ
カ、或ハ韓庭フスルトカ云フヤウナコ
トハゴザイマスガ、私立學校ニ付キマ
シテ、戰災ノ關係ニ於テ特別ニ處置力
執ラレテ居ルカドウカト云ソヨトハ、
私只今即答致シマスル材料ヲ持ツテ居
ラナイノデゴザイマス、尙ほ今後私立學
校ト云ノモノドウ云ノ風ニ一概ノ教
育方針トシテ取扱フテ行クカト六フコ
トナラバ、勿論開闢ガアレバ大方針ノ
點ハ御心へ出来マスト存ジマス
○高城義良 大臣ハ御見エニナリマス
○小柳委員長 文部大臣ハ今見エルサ
ウデス
○高城委員 大臣ガ見エマスル間、私
バカリ引張ッテモ如何カト思ヒマス
カラ、外ニ關聯ノ方デモアリマスレ
バ、其ノ方ニ譲ルコトニシテ、大臣ガ
見エマシタラ又御許シ願ヒマス
○小柳委員長 三田村君ドウデスカ
○三田村委員 私ハ運レテ此ノ委員會
ニ出マシタノデ、既ニ此ノ委員會ニ於
テモ論議ガ盛サレタ問題カモ知レマセ
スガ、一寸今ノ質疑ニ關聯シテ國民學
校ノ教育ニ付テ御尋ニ致シタイト思ヒ
マス、一口ニ申シマスト、今度ノ終嚴
デ一寸表現シニクイ位ノ大キナ變革ガ
來タノデアリマス、終戰後地方ニ參ツ
テ國民學校ノ先生ト色々話シテ見タノ
デアリマスガ、全ク教科書ヲ伏セテ爲
ス所ヲ知ラナイト云フ狀態デアリマ
ス、詰リ今マデ數ヘテ來タコトト全ク
逆ナ方向ニ行カナケレバナラヌ立場ニ
立タサレマシタ、是ハ我々觀念的ニ

考ヘルゴトノ出来ナイ大キナ一シヨン
ク」ダラウト思フ、私ハ沁々懇ヘラレ
マシテ、非常ニ感ヲ深クシタノデアリ
マスガ、我タ一體兒童ニ何ト言ツタテ
宜イカ、下ウ音ツタラ宜イカト云フ深
刻ナ憤ミヲ持ツテ居ラレルノデアリマ
ス、私ハ此ノ問題デ、二日そ三日そ國
民學校ノ先生ト疎ヲ交ヘテ懇談シテ來
マシタガ、率直ニ表現致シマスト、教
育者トシテノ自信ヲ全ク失ツテ居ル、
是デハ教育ニナラヌ、其ノ際唯今日必
要ナモノハ人格ノ完成ダ、人間的尊嚴
ノ確立以外ニ教育ノ根幹ハナイダラウ
ト思フ、敗ケタコトニ依ル日本ノ變革
ハ極メテ大キナ衝撃デアルケレドモ、
其ノ中ニ我々ハ新シ人間個ノ完成ニ
向ハウヂヤナイカ、教育者ノ本當ノ使
命ハソニニアルダラウト云フ話ヲシ
テ、一應多少ノ方向ト申シマスカ、ソ
レヲ見出シテ來タノデアリマスガ、私
ハ既ニ文部當局カラソレ等ノ點ハ十分御
考慮ノ上當サレテ居ルコト考ヘマ
スルケレドモ、毎日教壇ニ立ツテ居マ
ス教員ハ、實ニ深刻ナ憤ミヲ持ツテ居
ルト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイト恩フ
ノデアリマス、サウシテ色々軍國主義
ノ一掃ト力、過激ナル國家主義ノ一掃
トカ、斯ウ云フ抽象的ナル、謂ハヽ政
分デ教科書ヲ手ニシテイタイケナ兒童
治的表現、此ノ言葉デハ實ハ教壇ニ立
ツテ居ル人ハ分ラナイ、サウ云フ問題
ヲ文部省ノ其ノ御ニ當ラレル人ハ、自
フ前ニスル氣持デ「ツ御考ヘ願ヒタ
イ、サウンシテ能クフルヤウニ、取敢
ズ此ノ敗戦ノ悲運ノ中カラ起チ上ル
日本ノ行先ト云フモノヲ、私ハ概念
ニアラズ、抽象ニアラズ、客觀具體的
ニ示シテ戴キタイト考ヘマス、是ガナ
イト率直ニ申シマシテ、實際地方ノ

教員諸君ハ困ツテ居ル、兒童ノ傷イ
テ居ナイ兒童ガ先生ニ依ツテ傷ケラ
レ、敗戦ニ依ツテ傷ケラレ、更ニ其
ノ兒童ノ傷イタ心ニ依ツテ教員ガ傷
ケラレルハ屢々實ニ應酬ニ因ル逆襲
ガ兒童ノ言葉カラ出ルコトハ、是ハ想
像ニ難クナ、文部當局モ御承知ノコ
トト思ビマス、サウ云フ點ヲ一々十分
御考ヘニナリマシテ、今マデ此ノ點ニ
付テナサレタ文部當局ノ處置ト、ソレ
カラ此ノ問題ヲドウ捌イテ行クか、事
實毎日戰爭ニ敗ケタ悲運ノ中ニ立ツテ
テ來タ兒童、其ノ兒童ト一體ニナツテ
アルベキ國民學校ノ教員諸君ガ、此ノ
新シイ日本ノ基礎的教育ヲ擔當スル時
ノ心掛ケト云フコトニ付テ、御當局ノ
御所見ヲ此ノ際闇察シテ御伺ヒシタイ
ト思ヒマス

ヤウナコトヲ國民ヲシテ考へサセルヨ
トハ、實ハ罪ナコトデアリマス、根本
ニ國民ヲ懷疑思想ニ導ク由々シキ事
事ナノデゴザイマス、所デ今日爲政者
トシテドウ云フ風ニ考ヘタラ宜イカ、
爲政者自身ガ率直ニ申シマスト、カツキ
キシリシタ正邪善惡トカ、道義トカ云
コトニ付テノ自信ヲ持ツテ居ナケレバ、
ナラナイ、其ノ自信ヲ持ツテ居ラナイ
ナラバ、本當ニ國民ナリ或ハ教育者ヲ
導イテ行クコトハ出來ナイデハナイ
カ、「デモクラシー」ニシテモ「リベラ
リズム」ニシテモ其ノ通リデアリマ
ス、此ノ間マデ「リベラリズム」ハイケ
ナカツタガ、八月十五日以後ハ宜クナ
ツタノダト云フコトデハ整理ガ付カナ
イ、ソコデヤハリ今マデモ眞理ハ偏
理ナノダ、所ガ今マデハ其ノ眞理ガ色
色ナル事情カラシテ、眞理ガ眞理トシ
テ通ラナクテ無理ガ通ツテ居テ、今日
初メテ眞理ガ明久ニサレタント云フヨ
トデハアリマセヌデ、結局今マデノヨ
コトヲ強調シテ居ル譯デゴザイマス、
デスカラ決シテ今マデノ眞理ガ今日
ニナツテ、又其ノ道ニナツタト云フヨ
トデハアリマセヌデ、
ヲ認メル奉直ニ國民モ非ヲ認メル、政
治家モ、軍部モ、學者モ、言論界モ總
ニマデ我々ノ通ツテ來タ道ハ理想ニ叶ツ
テ居ナカツタンド、理想ニ達サカツタ
場合ト同ジヤウニ國民モヤハリ病理的
アツテ誤リアルモノデアリマス、世界
ニ誤リナイ民族ナリ、國家ト云フモノ
一個ノ考へバカリデナクシテ、個人ノカ
ハナイト思フ、我ガ國モヤハリ病理的
現象ニナツタンド、多少氣が變ニナツ
タンダト云フコトハ率直ニ認メテ、是
カラ新タニ生レ更ルンダ、我々ノ誤リ

ヲ認メテ生レ更ル場合ニ於テ、「コ
バーシヨン」ノ力ガヤハリ偶イテ來
ノデスガ、サウスレバ却テ誤リヲ犯
タコト自身ガ今後ノ更生ノ爲ニカニ
ヤハリソレヲ率直ニ認メ、地方ノ教育
員達ガ兒童ヤ、學童ヤ、生徒ニ接シ
ス場合ニ於テ、ソレヲ率直ニ言フ——
言フコトハ必要ハナイガ、ソレヲ胡麻
化シ、或ハ懷疑的ナ態度ニ止マツテ、
又世ノ中ハ違フ、又今言ツテ居ルコト
モ違フカモ知レナイト云フヤウナ、サ
ウ云フヤウナ疑ヒヲ起サセルコトハ絶
對ニナイヤウニシテ行ク、詰リ此ノ道
コソハ本當ニ世ノ中ノ終ルマデ續ケ
ノダト云フヤウナ確信ヲ持ツテ教ヘル
マデ感ズル次第アリマス、隨テ此ト
腹ヲ持ツテ居ナケレバナラナイ、確信
ヲ持ツテ居ナケレバナラナイ、信仰ヲ
先刻御話ノヤウニ唯「ホガタイプ」ニ
ル軍國主義ナリ何ナリヲ拂拭シテシテ
マコトダケデハ足ラナイノデ、新シイ
教育方針ヲ實現シテ行キマス爲ニハ、
カナケレバナラナイ所ノ人格ノ完成、
個性ノ健全ナル發達ト云フヤウナコト
ガ目標ニナラナケレバナラズ、然ラザ
レバドウ云フ風ニシテ人格ヲ完成シ、
又個性ノ健全ナル發達ヲ圖ルレト云フ
コトニナリマスト、埠近ナル國家的
政治目的、行政目的ニ教育ガ左右サレ
テハナラズ、詰リ永遠ノ眞理ハ個人ニ
區々タル判斷ヲ超越スル所ノ眞理ニ
リ、或ハ道義ナリト云フモノガアリ、
ソレヲ追求スルノガ科學ノ目的アリ
又教育ノ目的デアルト云フ風ニ考ヘ
ル、ソレヲ追求シソレト合致シテコ

人格ノ完成モ行ハレ、又個性ノ健全
ル發達——ソレモ我ガ健ナ勝手氣體
發達デハナクシテ健全ナル發達ガ出
ル、ソレガ詰リ本當ニ國家目的ニ即
スルコトデモアリ、又世界人類ノ平和
リ福祉ニ貢獻スル所以デモアルト云
風ナコトヲ心ノ底ニ刻ミ付ケルト云
ノガ、教育ノ方針デナケレバナラナ
ト云フ風ニ存ジテ居ル次第ニアリ
ス、サウ云フ意味ニ於テ今マデノ教
ハ、不幸ニシテ脇道一外レテ居ツタ、
レヲ今本當ニ元ニ恩スンダ、ソレガ
陛下ノ恩召ニ叶シテ云ルコトデ、不幸
シテ、陛下ノサウ云フ方面ノ恩召ハ
間ノ夾雜物ノ爲ニハツキリ我々ニ傳
ラレナカツタ、ソレガ今日終戰ニ際シ
初メテ明カニサレタノデアル、サウ云
フ風ナ態度デ以テ教育者ナリ、或ハナ
童、生徒等ニ指導シタラ宜イデハナ
カト云フ風ニ存ジテ居ル次第ニアリ
ス

ナナル影響ガアルノデアリマシテ、私獨リ此ノ事ヲ非常ニ心配シテ居リマス、不在地主ト申シマシテモ、ビンカララ反、或ハ一町内外、關西ハ五、六反アタリノ不在地主、或ハ七、八反位ノ不在地主ガアル、其ノ中ニ幾多ノ問題ヲ起スモノガアル譯ダ、詰リ教育ノ方カラ見マシテ問題ダト申シマスノハ教職員デアリマス、教職員デ郷里ヲ出デ教育ニ從事シテ居ツタ者ノ殆ド大部分ハ其ノ方ノ該當者ニナル、隨テ若シ此ノ懸念潤ニ教壇ニ立ツテ居レバ、モウ郷里ニ競争シテ見タラ土地ハ處分サレテ居ツタ、或ハサウ云フコトニナラウカラ、此ノ際教壇ヲ退イテ郷里ニ歸ラウト思フ、斯ワ云フヤウナ形ニナル運命ヲ孕シニ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○高城委員 其ノ點ハ實ハ農地委員會ノ場合ニ何ソノガ便利ダト考ヘタノデアリスガ、色々用ガアリマシテ、向フデ吟味スル機會ヲ得マセヌ中ニ時間ガ經ツテシマヒマシテ、遺憾ニ思ツテ居ルノ、デアリマス、不在地主ト云ツテモ関西、アタリノ不在地主ト云フノハ、非常ニ小サインデゴザイマシテ、俗ニ言フ、不在地主ト云フノハソレハ大キイノモアリマセウケレドモ、單ニ是ハ致貞ニ限ラズ、所謂都會勤勞者或ハ官公職ニ就イテ居ル人達ガ、郷里ニ於テ零細ノ土地ヲ持ツテ居ル、ソレデ難テ老後ハ其處へ隠退スル、又歸農ラシテ町村ノ中堅的ナ指導者ニナル、併シソレマダノ間外ニ出テヤツテ居ル、サウ云フ人ガ校長級位ニナリマスルト、大抵戸主ニナツテ相續ラ致段階ニナルノニアリマス、ソレハ結局不在地主トシテ處理セラレル、コトニナルノデアリマスカ

○高城委員 其ノ五町歩ト云フモノハ
在村地主ノ場合、詰リ隣接町村ニアラ
ザル、郷里ヲ遠ク離レテ出ゲ居リマスル
者ハ「ルンベニ」ヲシテ歩キマスカラ、
其ノ者ハ不在地主トシテ、是ハ反別ハ
規定サレテナイ、ソコデソレノ是非ハ
別トシテ、教員ガ兎ニ角舒メテ歸還シ
タイト云フ勃然タル思想ガ横溢シテ居
リマス、先ツ戰爭ノ憂鬱、ソレカラ
先程同僚カラモ御話ガアリマシタヤウ
ニ、教育ノ態度ト云ヒマスカ、心境ヲ
失ツテ居リ、經濟生活ニ逼迫ヲシテ居
リ、他村ニアツテハ住宅ニ困窮ラシ、
ソレカラ物ヲ得ラレナイ、サウシテ鄉
里ニ於テハ自分ノ土地ハ小作人カラ處
置セラレルト云フコトガ茲ニ成立シタ
場合ニハ、易々ト他所ニ在ツテ、アノ
遺給ノ中で教員ヲヤラウト云フ意思ハ
毛頭ナクナツテシマフ、ズスカラ是ハ
單ニ教育ノ問題ダケデハナイ、所謂社會
ノ組織ヲ大變革ヲヤラウト云フ意圖
ノ下ニ、此ノ法案ハ提出サレタルモノ
ナリト云フ風ニ私ハ見タノザアリマ
ス、ソレハソレデモ成立チマス、大キ
ナ眼デ見マシテ、是ハ今マデノ小作人
ノ中カラ地方ノ指導階層ヲ作ルノダ、
今マデノ指導階層ハ御免ナンダ、サウ
云フ者ハ根ナシ草ニシテ放リ出スノ
シテ非常ナ影響ガアル、而シテ其ノ申
ヌ譯デハゴザイマセヌケレドモ、現在
ノ通念的ナル社會構成ト云フモノニ對
シ關係シテ、或ハ役場ニ出タリ色々ナ
カト考ヘテ居リマス

コトヲシテ、實際上ノ穩健ナ指導者トシテ村ヲ率イテ行ク人デスガ、ソレガ連モノベシダラリトシテ外ニ出デ居レナノニアリマス、斯ウ云ソ形ニナル、其ノ點ヲ御尋不致シマス
○前田國務大臣 私農地法案ヲ能ク覺エテ居ラナイノデゴザイマスガ、私方閣議テ聽イタ時ノ記憶ニ依リマスレバ、成程御示シノヤウニ、五町歩以下ノ土地デモ不在地主デアレバ、此ノ法ノ適用ヲ受ケル、斯ウ云フ場合ガアリマスガ、ソレハ但書カ何カデアリマシテ、何カ特別ノ場合トカ農地委員會ガソレヲ認メタ場合デアルカ、或ハ行政官廳ガソレヲ認メタ場合ト云フ特別ノ場合ニ於テハ、五町歩以下ノモノト雖モ、不在地主ノ場合ニハ謂ハマ自作ヲレバ、御示シノヤウナ場合ハ許セレナ取上ゲテ小作ノ方ニスル、サウナツテ居ルノデハゴザイマセヌカ、慥カサウダト思ヒマス、サウデアルト致シマスフノ趣旨ハナイノアリマシテ、純然タル不在地主デ、モウサウ云フモノモ當ニシテ居ラズ、都會デ以テ其ノ人ハ立派ニ商賣ヲヤツテ居ル、唯幾ラカヅソレカラ米ヲ取ラウト云フヤナ方ヲ自作ニスル爲ニサウ云フモノヲ取ツテシマフ、ケレドモ今ノ御示シノヤウナ猶體大ノ土地ヲ郷里ニ持ツテ居ル、ソレヲ幾ラカ元ニシナガラ、都會ニ出テ先生ヲシテ居ル、サウ云フヤウナ方ノ分ハソレハ取上ゲナイノガ當ニ前ダト思ヒマス、ソレハ其ノ済用ノ點デ旨ク行クノデハナイカト思ヒマスガ、或ハ記憶ガハツキリ致シマセヌカ

○高城委員 ソコノ所モコ、チ論議スル場所デナインオデ、甚ダ恐縮スル次第アリマルスガ、尙ホ最高司令部カラ云フモノニ對シテ、直接のナ細カイ形容詞ハ付イテ居ラスト云フ風ニ私ハ讀ンデ居ルノデアリマス、サウシマスレバ今モ大臣ガ仰セラレマスヤウニ少クトモサウシタ面ニ付テハ非常ナ注意ヲ以テ見テ戴カナイトイケナシ、且ツ又在林ト云フヤウナコト等ニナリマスルト、農地委員會ノ處置ニ依リマシテ、適宜ノ處置ナドヤラレル場合モアリ得ル譯デアリマスカラ、隨テ在村^{吉田}リ村ニ歸リタイト云フヤウナコトニモナリマセウ、サウシテ其ノ危険ヲ防止スルト云フコトモアリマセウ、サウスルト云フト、ソレガ特例トシテ村ニ歸リ得ル場合ハ宜イデスケレドモ、場合ニ依リマシテハ人員ノ關係ヤ其ノ他ズ、歸り得ナイ場合モアル譯デアリマス、サナキダニ歸農シタイト云フヤコトガ横濱シテ居リマスカラ、其ノ關係ヲ十分一ツ注意ヲシテ戴キタイト云フコトヲ、茲ニ提案ヲシテ置クニ止メタイト思ヒマス

年掛ツテモ解決が付カナイ、是ガ御調
ニハ、敏速ニ是ガ一ツ處置サレルヤウ
ニ、大臣カラ此ノ際堅切ニ此ノ道ガズ
數デアリマス、退職ガアリマシタ場合
ンズン通リマスルヤウニ、御指示カ願
ヒタインデアリマス

○前田國務大臣 御示シノ場合ハ、多
ク是ハ地方費支辨、地方ノ中等學校以
下ノ教員ノ方々ノ問題グラウト思ヒマ
ス、地方廳ニ取扱ヒガ難レルグラウト
思フノデスガ、其ノ點ハ能ク文部省カ
ラ地方廳ノ方ニ注意ヲ致スコトニ致サ
セタイト思ヒマス

○高城委員 各地方廳ニ學務部ノ設置
ニ付キマシテ、大臣ノ御所見ハアリマ
セヌデセウカ

○前田國務大臣 只今直グ元ゴザイマ
シタヤウナ學務部トシテ復活致スト云
フ考ヘハゴザイマヌゾ、是ハ一般ノ
アリマスル教育ノ行政機構ワドウスル
カト云フ問題ニ付キマシテハ、私モ多
少考ヘガゴザイマヌゾ、是ハ一般ノ
行政機構ノ問題ト併セマシテ、能ク一
ツ再検討致シタイト考ヘテ居リマス

○高城委員 今度ノ選考ニ對シマシ
テ、學校教員ノ勤怠イテ行キマスル大體
ノ輪廊ニ付キマシテ、御指示ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○前田國務大臣 學校ノ教職員ト云フ
モノハ、今マデハ全然政治ト云フモノ
ニ對シテ何カ遠慮シテ、サウ云フモノ
ニ槐ハツテハイカヌト云フヤウナ氣持
ガ幾ラカアツタヤウデスガ、無論教職
員ガ政治運動ニ狂奔スルガ如キハ嚴ニ
シテハ、相當ノ熟意ヲ以テサウ云フコ
トニ携ハツテ實フ方ガ宜イグラウト考

ヘマス、隨て選舉ノ場合ニ選舉運動ガ
マシイコトハ、是ハ嚴ニ戒メタイト恩
ヒマスガ、棄權防止デゴザイマスルト
カ、投票權ヲ尊重シナケレバナラナイ
所以デアリマストカ、サウ云フヤウナ事
ヒマスガ、棄權防止デゴザイマスルト
カ、其ノ範圍ヲ擴ゲルト云フヤウナ事

ニ於キマシテ校長ノ内申權ト申シマス
カ、サウ云フモノヲ餘計重ンジルト
カ、其ノ範圍ヲ擴ゲルト云フヤウナ事

會ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午後三時八分散

○前田國務大臣 只今特ニ戰災復興部
ト云フヤウナ機構ヲ設ケル考へハゾガ
イマセヌガ、ソレヲ置イテアルノト同
ジヤウナ氣持ヲ以チマンテ、是ハ主ニ
學校教育局ト會計課トガ結付ケバ出來
ルコトト思ヒマスガ、此ノ兩者ノ間ニ
緊密ナ連繫ヲ執ラセテ、專ラ戰災復興
ニ邁進致シテ居リマス

○高城委員 本官ノ新聞ニ依リマス
ト、東京都ニ於テ教育ノ民主化ノ一ツ
ノ現ハレトシテ、校長ノ權限ヲ擴大ス
ルト云フ都ノ方針ガ出テ居リマスガ、
各學校ニ於テモ都ニ限ラズ、國內全般
ニ學校長ノ教職負任用ニ關スル權限ヲ
擴大スル、コンチヤウナ記事ガ載ツテ
居リマスガ、此ノ點ニ付テドウ御考へ
ニナツテ居リマスカ

○前田國務大臣 私ノ了解シテ居ル所
ニ依リマスト、教職員ノ任免ハ知事ノ
手ニアルト思ヒマス、隨テ校長ガ直チ
ニ任免權ヲ握ト云フコトハ出來ナイ
ト思ヒマスガ、恐らく其ノ御謹ミニナ
ツタ新聞記事ノ意味ハ、私モ都ノ方力
ヲ報告ニ接シテ居リマセガ、事實上

○前田國務大臣 只今特ニ戰災復興部
ト云フヤウナ機構ヲ設ケル考へハゾガ
イマセヌガ、ソレヲ置イテアルノト同
ジヤウナ氣持ヲ以チマンテ、是ハ主ニ
學校教育局ト會計課トガ結付ケバ出來
ルコトト思ヒマスガ、此ノ兩者ノ間ニ
緊密ナ連繫ヲ執ラセテ、專ラ戰災復興
ニ邁進致シテ居リマス

○高城委員 今ノ點ニ付キマシテ相當
國內全般ニ擴大シテ戴クト云フ風ニナ
リマシタコトハ、非常ニ愉快ニ存ジマ
ス、ソレカラ教員ノ資格等ニ付キマシ
テモ、校長ノ内申ニ依クテ之ヲ然ルベ
ク斡旋シテ、資格等ヲ得セシメルト云
フヤウナ無試驗検定式、サウ云フヤウ
ナ考へ方テ人材ヲ用ヒテ行クト云フヤ
ウナ鶴三付キマシテ如何デゴザイマセ
ウカ

○前田國務大臣 是等ノ人ノ資格ノ問
題、殊ニ無試驗検定ノ問題ニ付テハ、
相當私ハ再檢討ガ要ルト考ヘテ居リ
マス、一日ニ申シマシテ、殊ニ斯ウ云フ
ヤウナ新時代ニ即シマシテ、又他面ニ
於テ相當知識階級ニモ失業者ガアリマ
ス場合ニ、相當廣イ範圍カラ物色致
マスレバ、教員資格者ト云フモノハ相
當得ラレルノデハナイカト思ヒマス、
隨テ此ノ無試驗検定ナドノ點ニ付キマ
シテモ、再檢討致シタイト云フ感ジガ
ゴザイマス

○小柳委員長 明日ハ午前十時開

第六類第四號 入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案委員會議錄 第三回 昭和二十年十二月十一日

○前田國務大臣 私ノ了解シテ居ル所
ニ依リマスト、教職員ノ任免ハ知事ノ
手ニアルト思ヒマス、隨テ校長ガ直チ
ニ任免權ヲ握ト云フコトハ出來ナイ
ト思ヒマスガ、恐らく其ノ御謹ミニナ
ツタ新聞記事ノ意味ハ、私モ都ノ方力
ヲ報告ニ接シテ居リマセガ、事實上

○前田國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ相當
國內全般ニ擴大シテ戴クト云フ風ニナ
リマシタコトハ、非常ニ愉快ニ存ジマ
ス、ソレカラ教員ノ資格等ニ付キマシ
テモ、校長ノ内申ニ依クテ之ヲ然ルベ
ク斡旋シテ、資格等ヲ得セシメルト云
フヤウナ無試驗検定式、サウ云フヤウ
ナ考へ方テ人材ヲ用ヒテ行クト云フヤ
ウナ鶴三付キマシテ如何デゴザイマセ
ウカ

○前田國務大臣 是等ノ人ノ資格ノ問
題、殊ニ無試驗検定ノ問題ニ付テハ、
相當私ハ再檢討ガ要ルト考ヘテ居リ
マス、一日ニ申シマシテ、殊ニ斯ウ云フ
ヤウナ新時代ニ即シマシテ、又他面ニ
於テ相當知識階級ニモ失業者ガアリマ
ス場合ニ、相當廣イ範圍カラ物色致
マスレバ、教員資格者ト云フモノハ相
當得ラレルノデハナイカト思ヒマス、
隨テ此ノ無試驗検定ナドノ點ニ付キマ
シテモ、再檢討致シタイト云フ感ジガ
ゴザイマス

○小柳委員長 明日ハ午前十時開

○前田國務大臣 私ノ了解シテ居ル所
ニ依リマスト、教職員ノ任免ハ知事ノ
手ニアルト思ヒマス、隨テ校長ガ直チ
ニ任免權ヲ握ト云フコトハ出來ナイ
ト思ヒマスガ、恐らく其ノ御謹ミニナ
ツタ新聞記事ノ意味ハ、私モ都ノ方力
ヲ報告ニ接シテ居リマセガ、事實上

○前田國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ相當
國內全般ニ擴大シテ戴クト云フ風ニナ
リマシタコトハ、非常ニ愉快ニ存ジマ
ス、ソレカラ教員ノ資格等ニ付キマシ
テモ、校長ノ内申ニ依クテ之ヲ然ルベ
ク斡旋シテ、資格等ヲ得セシメルト云
フヤウナ無試驗検定式、サウ云フヤウ
ナ考へ方テ人材ヲ用ヒテ行クト云フヤ
ウナ鶴三付キマシテ如何デゴザイマセ
ウカ

○前田國務大臣 是等ノ人ノ資格ノ問
題、殊ニ無試驗検定ノ問題ニ付テハ、
相當私ハ再檢討ガ要ルト考ヘテ居リ
マス、一日ニ申シマシテ、殊ニ斯ウ云フ
ヤウナ新時代ニ即シマシテ、又他面ニ
於テ相當知識階級ニモ失業者ガアリマ
ス場合ニ、相當廣イ範圍カラ物色致
マスレバ、教員資格者ト云フモノハ相
當得ラレルノデハナイカト思ヒマス、
隨テ此ノ無試驗検定ナドノ點ニ付キマ
シテモ、再檢討致シタイト云フ感ジガ
ゴザイマス

○小柳委員長 明日ハ午前十時開

昭和二十一年一月二十一日印製

昭和二十一年二月一日施行

衆議院事務局
入營者 職 業 法